

平成 31 年度

# 入学者選抜要項

平成 30 年 7 月

千葉大学



CHIBA UNIVERSITY

# 千葉大学入学者受入れの方針

## 1 千葉大学の求める入学者

千葉大学は、総合大学として多様な研究・教育組織から構成されており、その知的環境を十分に利用して、問題解決能力を培い、創造的能力を育み、自発的な精神を養い、社会と文化の発展とともに、人類の平和と地球環境の保全に貢献する人材の育成を目指しています。

千葉大学は『つねに、より高きものをめざして』の理念のもと、次のような向上心あふれる人の入学を求めています。

1. 現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、さらに向上させていこうとする熱意を持つ人
2. 本学での修学について強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探求し、問題解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人
3. 本学入学後の修学に必要な基礎学力として十分な知識・実技能力を持つ人

## 2 入学者選抜の基本方針

千葉大学は、複数の受験機会を提供し、多様な入試を実施しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般入試の他に特別入試として、次の試験を実施しています。

AO入試，推薦入試，園芸産業創発学プログラム選抜，社会人入試，帰国子女入試，私費外国人留学生入試，3年次編入学，先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

本学の入試では、大学入試センター試験，個別学力検査，調査書，面接及び小論文などを組み合わせて、志願者の能力や資質を総合的に評価します。

## 3 入学までに身に付けて欲しいこと

基礎学力としての十分な知識と共に、他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身に付けてください。

広く社会に目を向け幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する強い好奇心を持つとともに、自ら考え、判断し、解決したりする力を高めてください。

これらは、本学に入学してから知識・技能を生かす底力となるでしょう。

なお、各学部・学科（課程）の入学者受入れの方針については、本学ホームページ (<http://www.chiba-u.jp/exam/gakubu/adpolicy.html>) 等をご覧ください。

# 目 次

1. 学部改組等	( 2)
2. 入学者選抜日程の概要	( 8)
(1) 一般入試	( 8)
(2) 特別入試	( 8)
3. 募集人員	(10)
4. 一般入試	(14)
(1) 出 願	(14)
ア 出願資格	(14)
イ 出願の際の留意事項等	(14)
(2) 入学者選抜	(14)
ア 選抜方法等	(14)
(ア) 選抜方法	(14)
(イ) 2段階選抜の実施	(15)
(ウ) 合否判定基準	(15)
イ 実施教科・科目等	(15)
(ア) 大学入試センター試験の指定教科・科目等	(15)
(イ) 個別学力検査等の出題教科・科目等	(21)
(ウ) 教育学部小学校教員養成課程 音楽科選修 演奏実技の実施要領等	(28)
(エ) 教育学部中学校教員養成課程 音楽科教育分野 演奏実技の実施要領等	(28)
(オ) 入学者選抜（一般入試）における外国語検定試験の成績の利用	(29)
ウ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点	(31)
エ 身体等に障害のある入学志願者の事前相談	(33)
5. A O入試	(34)
6. 推薦入試	(41)
7. 園芸産業創発学プログラム選抜	(45)
8. 帰国子女入試	(46)
9. 社会人入試	(48)
10. 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜	(49)
11. 私費外国人留学生入試	(52)
12. 次年度入学者選抜方法の変更（予告）	(58)
13. 学部への問合せ及び一般入試・特別入試学生募集要項等の請求方法	(72)

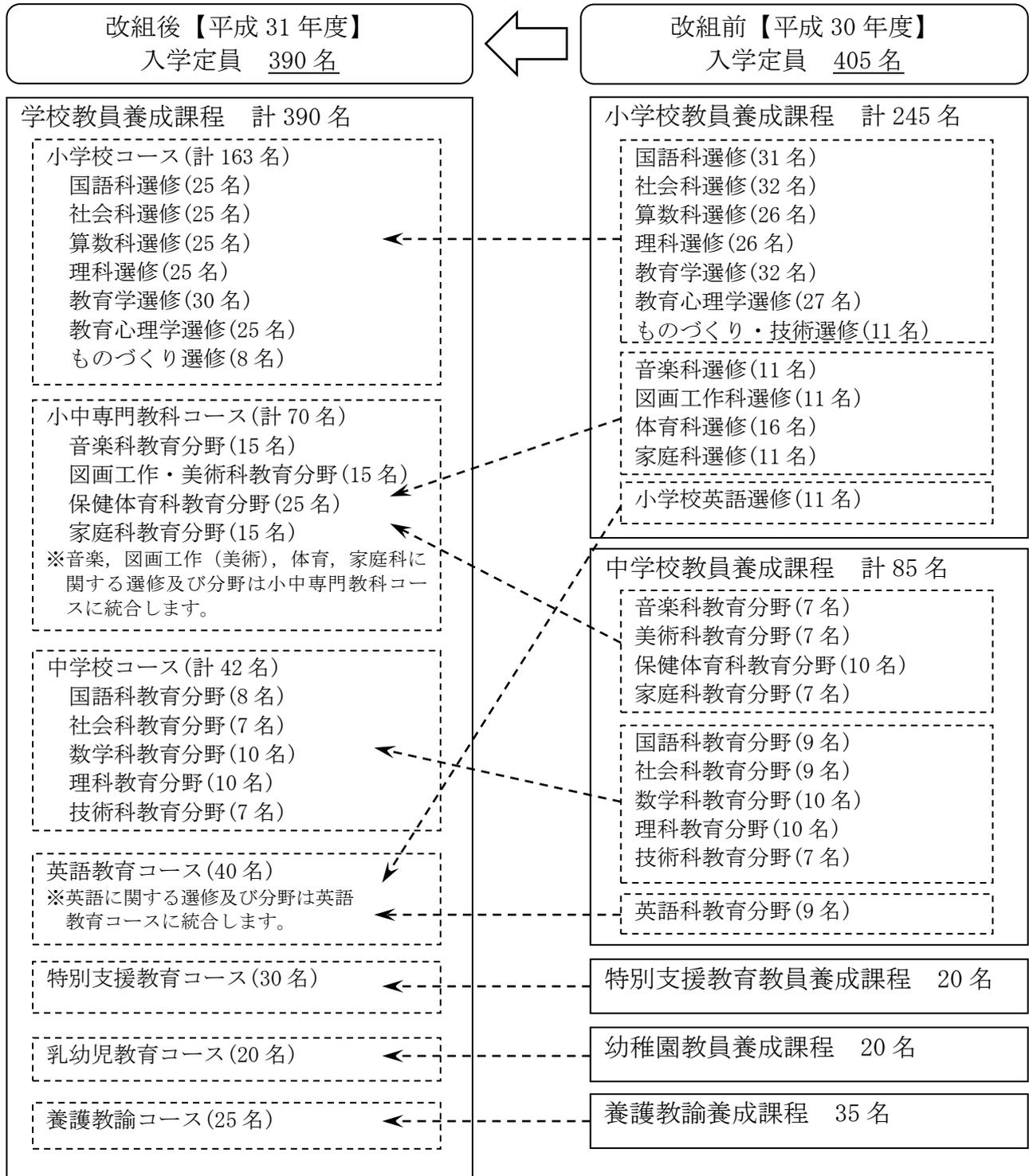
※ 本学の入試実施に関して変更等が生じる場合は、速やかにホームページ (<http://www.chiba-u.jp/>) 等でお知らせします。

# 1. 学部改組等

## (1) 教育学部における学部改組

千葉大学では、平成 31 年度に教育学部の学部改組を計画しています。この計画は予定であり、変更する場合があります。

### ア. 教育学部の学部改組の概略図



※ ( ) 内の人数は、おおよその人数であり、志願状況により増減することがあります。

## イ. 課程の再編成とコース制導入

教育学部は、従来の5課程を1つの課程に統合した上で、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園などの教員や養護教諭になるための教育に対応した7つのコースを設けることを計画しています。

この変更では従来のカリキュラムを大幅に見直し、複数の教員免許状を取得しやすくするとともに、学校インターンシップの必修化、小学校における英語の教科化への対応、並びに現代的な教育課題の1つである特別支援に関する教育の充実などを盛り込み、4年間で教員としての実践力を十分に高めることができます。

## ウ. 各コースの概要

### ① 小学校コース

このコースでは、幅広い教養、社会的常識、協調性、豊かな表現力を持ち、主体的に問題を解決することのできる実践力及び意欲の高い小学校教員を養成します。入学後は国語科選修、社会科選修、算数科選修、理科選修、教育学選修、教育心理学選修、ものづくり選修に分かれて学修し、一つの強みを持った小学校教員を目指します。

### ② 中学校コース

このコースでは、国語科教育分野、社会科教育分野、数学科教育分野、理科教育分野、技術科教育分野に分かれ、高い専門性を持った中学校教員を養成します。また、専門とする教科に関わる科目を学修し、その教科の中学校教諭1種免許状を取得するほかに、他教科の中学校教諭2種免許状を取得するなど、複数の中学校教科を受け持つことができる教員を養成することが特徴です。

### ③ 小中専門教科コース

このコースでは、小学校及び中学校で専門性が求められる教科である音楽、美術（図画工作）、保健体育、家庭科に特化して、高い実技力や専門性を有する小学校及び中学校教員を養成します。このコースを卒業すると、小学校教諭免許と中学校教諭免許（所属する分野の教科）を併有して、いずれの学校教員にもなることが可能となります。

### ④ 英語教育コース

このコースでは、中学校教諭免許（英語）ならびに小学校教諭免許の両方取得し、高い専門性と実践力を持った中学校英語教諭ならびに小学校英語教育を推進できる教員を養成します。さらに、比較的少人数の指導を行うなどにより、即戦力人材として英語教育・小学校英語教育・国際理解教育でリーダーとなれる教員を養成することが特徴です。卒業後は、小学校教諭免許と中学校教諭免許（英語）を併有して、いずれの学校教員にもなることが可能です。

### ⑤ 特別支援教育コース

このコースでは、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）の教育を担える教員を養成します。また、社会が大きく変化する中、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒が増えていることから、特別支援学校の教育だけでなく、小・中学校等の特別支援学級、通級指導教室も担えることを視野に入れた専門的知識、技能を身につけます。

### ⑥ 乳幼児教育コース

このコースでは、幼稚園教育に加えて、保育（乳幼児教育）に関する専門的な理論・知識及び高度な実践力を有する教員を養成します。入学後は、保育、幼児教育および小学校教育との円滑な接続を意識しつつ、新たな教育的課題に積極的に取り組む姿勢と問題解決能力を有し、生涯にわたる人格形成及び学校教育の基礎としての乳幼児教育の充実を図る教員を目指します。

### ⑦ 養護教諭コース

このコースでは、発育・発達段階に応じた児童・生徒の健康と成長を支援できる専門性の高い養護教諭を養成します。特に、養護教諭は児童生徒とのかかわりや教職員との連携が重要であることから、さまざまな活動や体験を通して、豊かな感性と柔軟なもの見方、コミュニケーション能力を身に付けた養護教諭を目指します。

## エ. 各コースで取得できる教員免許状

改組後の学校教員養成課程においては、次のとおり教員免許状が取得可能となるよう文部科学省に申請中です。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる場合があります。  
(平成 31 年 2 月頃に確定予定)

コース・分野等	卒業と同時に取得できる 教員免許状	所定の単位を修得することで 取得可能な教員免許状 (※ 4・5)
小学校コース 国語科選修 社会科選修 算数科選修 理科選修 教育学選修 教育心理学選修 ものづくり選修	小学校教諭 1 種免許状	幼稚園教諭 1 種免許状・2 種免許状 小学校教諭 1 種免許状・2 種免許状 中学校教諭 1 種免許状・2 種免許状 (国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 英語)
中学校コース 国語科教育分野 社会科教育分野 数学科教育分野 理科教育分野 技術科教育分野	所属分野における教科の中学校教諭 1 種免許状 及び 所属以外の教科の中学校教諭 2 種免 許状 (保健を除く) 又は特別支援学校 教諭 2 種免許状 (※ 2)	高等学校教諭 1 種免許状 (国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 家庭, 工業, 英語) 特別支援学校教諭 1 種免許状・2 種免 許状 (知的障害・肢体不自由・病弱)
小中専門教科コース 音楽科教育分野 図画工作・美術科教育分野 保健体育科教育分野 家庭科教育分野	「A 選択」, 「B 選択」のいずれか (※ 1) ・「A 選択」 小学校教諭 1 種免許状と所属分野 の教科の中学校教諭 2 種免許状 ・「B 選択」	養護教諭 1 種免許状・2 種免許状
英語教育コース	小学校教諭 2 種免許状と所属分野 の教科の中学校教諭 1 種免許状	
特別支援教育コース	特別支援学校教諭 1 種免許状 (※ 2) 及び 小学校教諭, 中学校教諭 (1 教科) い ずれかの 1 種免許状	
乳幼児教育コース (※ 3)	幼稚園教諭 1 種免許状 及び 小学校教諭 2 種免許状	
養護教諭コース	養護教諭 1 種免許状	

※ 1 小中専門教科コース及び英語教育コースに設けている「A 選択」, 「B 選択」は、入学後に教員免許状を取得する履修要件を分けるための区分になります。これらのコースでは、卒業時に小学校教諭免許状及び所属する分野の教科の中学校教諭免許状の取得ができます。

なお、「A 選択」「B 選択」どちらに所属となった場合でも、希望をすれば 4 年間を通したカリキュラムで、いずれの校種免許でも 1 種免許状を取得できるように編成されています。(ただし、音楽科教育分野で A 選択となった者が、中学校教諭 1 種免許状 (音楽) の取得を希望する場合に限り、入学後に実技試験を行います。)

2 特別支援学校教諭 1 種免許状・2 種免許状は 5 領域のうち、3 領域 (知的障害, 肢体不自由, 病弱) の免許状になります。

3 乳幼児教育コースの学生は、所定の単位の修得と児童福祉施設等での実習をすることで保育士資格も取得可能です。

4 教員免許以外の取得可能な資格として、学芸員, 図書館司書があります。

5 改組前には取得可能であった、高等学校教諭 1 種免許状 (書道, 工芸) 及び社会教育主事は、平成 31 年度 (平成 31 年 4 月入学) 以降の入学者は取得できなくなります。

オ. 改組が確定した場合の平成 31 年度入学者選抜（平成 31 年 4 月入学）における募集人員

改組が確定した場合、平成 31 年度入学者選抜における各コース等の募集人員は下表のとおり予定しています。

改組確定後の 平成 31 年度入学者選抜における募集人員						現行（改組前）の 平成 30 年度入学者選抜における募集人員						
課程・コース・選修・分野等			一般入試 前期日程	AO 入試	推薦 入試	課程・選修等	一般入試 前期日程	AO 入試	推薦 入試			
学校 教員 養成 課程	小学 校 コ ー ス	国語科選修	(19)	6	←	小学 校 教 員 養 成 課 程	国語科選修	(25)	6			
		社会科選修	(19)	6			社会科選修	(26)	6			
		算数科選修	(19)	6			算数科選修	(20)	6			
		理科選修	(19)	6			理科選修	(20)	6			
		教育学選修	(24)	6			教育学選修	(26)	6			
		教育心理学選修	(19)	6			教育心理学選修	(21)	6			
		ものづくり選修	(5)	3			ものづくり・技術 選修	(8)	3			
	中 学 校 コ ー ス	国語科教育分野	(6)	←	2	中 学 校 教 員 養 成 課 程	国語科教育分野	(7)	←	2		
		社会科教育分野	(5)		2		社会科教育分野	(7)		2		
		数学科教育分野	(8)		2		数学科教育分野	(8)		2		
		理科教育分野	(8)		2		理科教育分野	(8)		2		
		技術科教育分野	(5)		2		技術科教育分野	(5)		2		
	小 中 専 門 教 科 コ ー ス	音楽科 教育分野	A 選択	(8)	2	←	小学校教員養成課程 音楽科選修	(9)	2	←		
			B 選択	(3)	←	中学校教員養成課程 音楽科教育分野	(5)	←	2			
		図画工作・ 美術科 教育分野	A 選択	(8)	2	←	小学校教員養成課程 図画工作科選修	(9)	2	←		
			B 選択	(3)	←	中学校教員養成課程 美術科教育分野	(5)	←	2			
		保健体育科 教育分野	A 選択	(13)	3	←	小学校教員養成課程 体育科選修	(13)	3	←		
			B 選択	(7)	←	中学校教員養成課程 保健体育科教育分野	(8)	←	2			
		家庭科 教育分野	A 選択	(8)	2	←	小学校教員養成課程 家庭科選修	(9)	2	←		
			B 選択	(3)	←	中学校教員養成課程 家庭科教育分野	(5)	←	2			
		英語教育コース	A 選択	(18)	7	←	小学校教員養成課程 小学校英語選修	(9)	2	←		
			B 選択	(12)	←	3	中学校教員養成課程 英語科教育分野	(7)	←	2		
		特別支援教育コース	(23)	←	7	←	特別支援教育教員養成課程	15	←	5		
		乳幼児教育コース	(15)	←	5	←	幼稚園教員養成課程	15	←	5		
	養護教諭コース	(20)	←	5	←	養護教諭養成課程	25	←	10			
	計			297	55	38	計			315	50	40
							390					
						405						

注 1 募集人員で（ ）書きになっている欄は、おおよその人数であり、志願状況により増減することがあります。

2 小中専門教科コース及び英語教育コースに設けている「A 選択」、「B 選択」は、入学後に教員免許状を取得する履修要件を分けるための区分になります。平成 31 年度入学者選抜においては、出願時に「A 選択」、「B 選択」を選択して出願してください。（「A 選択」、「B 選択」の履修要件上の違いについては、「エ. 各コースで取得できる教員免許状」を参照してください。）

## カ. 改組が確定した場合の平成 31 年度入学者選抜方法

改組が確定した場合、平成 31 年度入学者選抜（平成 31 年 4 月入学）における教育学部の入学者選抜方法等は次のとおり予定しています。

- ① 改組が確定した場合、改組後の新しい課程・コース・選修等の募集人員で学生募集を行います。  
ただし、改組に伴う移行措置として、平成 31 年度入学者選抜（平成 31 年 4 月入学）における一般入試並びに A O 入試、推薦入試等で指定する大学入試センター試験の指定教科・科目、個別学力検査の出題教科・科目などの入試科目については、現行（改組前）の各課程等で予定している入試科目で実施いたします。
- ② 現行（改組前）の小学校教員養成課程を小学校コースとして再編するにあたって、一般入試の選抜方法及び入学後の選修決定方法を次のとおり変更いたします。

### 【現行（改組前）】

出願する課程等		選抜方法及び選修決定方法
小学校教員養成課程	国語科選修	左記の 9 選修の全出願者を 1 つの選抜区分として選抜を行います。9 選修のうち、いずれかの選修に所属することを希望する場合、個別学力検査の出題教科・科目等は、「国語または数学」「外国語」及び「面接」となります。出願時に受験する教科として「国語または数学」のどちらかを選択してください。 なお、所属する選修は、合格発表後に左記の選修の中から第 1 希望から第 9 希望までの申請により、学力検査の成績と希望選修を勘案して決定します。（希望する選修の申請手続については、合格発表後に合格者にお知らせします。）
	社会科選修	
	算数科選修	
	理科選修	
	家庭科選修	
	教育学選修	
	教育心理学選修	
	ものづくり・技術選修	
	小学校英語選修	
	音楽科選修	左記の 3 選修の出願者をそれぞれの選抜区分として選抜を行います。これら 3 選修のうち、いずれかの選修に所属することを希望する場合、個別学力検査の出題教科・科目等は、「実技」「外国語」及び「面接」となります。出願時に受験する「実技」として、音楽科選修を希望する場合は音楽、図画工作科選修を希望する場合は図工、体育科選修を希望する場合は体育を選択してください。 所属する選修は、受験する「実技」の内容に対応した選修に決定します。
図画工作科選修		
体育科選修		



### 【改組確定後】

出願する課程等		選抜方法及び選修決定方法
学校教員養成課程		
小学校コース	国語科選修	左記の 7 選修の全出願者を 1 つの選抜区分として選抜を行います。 7 選修のうち、いずれかの選修に所属することを希望する場合、個別学力検査の出題教科・科目等は、「国語または数学」「外国語」及び「面接」となります。出願時に受験する教科として「国語または数学」のどちらかを選択してください。 なお、所属する選修は、合格発表後に左記の選修の中から第 1 希望から第 7 希望までの申請により、学力検査の成績と希望選修を勘案して決定します。（希望する選修の申請手続については、合格発表後に合格者にお知らせします。）
	社会科選修	
	算数科選修	
	理科選修	
	教育学選修	
	教育心理学選修	
	ものづくり選修	

★ 現行（改組前）の小学校教員養成課程に設けていた音楽科、図画工作科、体育科、家庭科、小学校英語の各選修については、改組後は小中専門教科コース（音楽科教育分野、図画工作・美術科教育分野、保健体育科教育分野、家庭科教育分野）および英語教育コースへと移行いたします。

これらのコース・分野ではそれぞれの分野に特化しつつ、小学校及び中学校の教員となるための履修を行います。小学校教員となるための広い学びを進めたい場合には、希望するコース・分野での「A 選択」を受験してください。なお、「B 選択」はそれぞれの分野での深い学びを進めたい場合の選択となります。

## (2) 薬学部の募集人員変更

薬学部では、平成 31 年度入学者選抜から一般入試前期日程の募集人員変更を予定しています。ただし、この内容は予定であり、変更する場合があります。

### 【変更前】

学 科	募 集 人 員						
	合 計		一 般 入 試		特 別 入 試		
			前期日程	後期日程	推薦入試	帰国子女入試	
					4月入学	9月入学	
薬学科 (6年制)	(40)	80	60	-	10	若干名	-
薬科学科 (4年制)	(40)			10	-		若干名



### 【変更後】

学 科	募 集 人 員						
	合 計		一 般 入 試		特 別 入 試		
			前期日程	後期日程	推薦入試	帰国子女入試	
					4月入学	9月入学	
薬学科 (6年制)	(50)	90	70	-	10	若干名	-
薬科学科 (4年制)	(40)			10	-		若干名

薬学部は、薬学科（6年制：50名）と薬科学科（4年制：40名）で構成されます。

前期日程及び4月入学帰国子女入試については、学科を決めずに一括募集し、学科への配属（薬学科40名、薬科学科30名）は、3年次進級時に本人の希望・学業成績により決定します。

後期日程及び9月入学帰国子女入試については薬科学科（4年制）、推薦入試については薬学科（6年制）のみで募集します。

薬剤師国家試験の受験資格は、薬学科（6年制）の卒業生に与えられます。

## 2. 入学者選抜日程の概要

試験	日程	受験案内発表	出願期間	実施期日
大学入試センター試験		9月から同試験利用大学で配布	10月上旬頃に同センターへ出願	1月19日(土)～20日(日) 同試験利用大学で実施

### (1) 一般入試

選抜	日程	要項発表	出願期間	選抜期日	合格者発表等	入学手続
一般入試 (前期日程)	国際教養学部	10月下旬	1月28日(月) ～2月6日(水)	文学部, 法政経学部, 理学部, 工学部, 園芸学部, 薬学部 2月25日(月)	第1段階選抜 実施結果発表 2月13日(水)	3月14日(木) ～15日(金)
	文学部					
	法政経学部					
	教育学部 ◆改組予定					
	理学部					
	工学部					
	園芸学部					
	医学部					
	薬学部					
看護学部	教育学部, 医学部, 看護学部 2月25日(月), 26日(火)	合格者発表 3月9日(土)				
一般入試 (後期日程)	文学部	10月下旬	1月28日(月) ～2月6日(水)	文学部, 法政経学部, 理学部, 工学部, 園芸学部, 薬学部 3月12日(火)	第1段階選抜 実施結果発表 2月19日(火)	3月26日(火) ～27日(水)
	法政経学部					
	理学部					
	工学部					
	園芸学部					
	医学部					
	薬学部					
医学部	医学部 3月12日(火), 13日(水)					
薬学部						

### (2) 特別入試

選抜	日程	要項発表	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続	
A O 入試	国際教養学部	7月上旬	9月18日(火) ～21日(金)	10月27日(土) ～28日(日)	合格内定者: 11月22日(木) 最終合格者: 2月13日(水)	2月19日(火)	
	法政経学部	7月中旬	10月29日(月) ～31日(水)	11月25日(日)	合格内定者: 12月19日(水) 最終合格者: 2月13日(水)	2月19日(火)	
	教育学部 ◆改組予定	8月下旬	9月25日(火) ～27日(木)	10月13日(土)	合格内定者: 10月25日(木) 最終合格者: 2月13日(水)	2月19日(火)	
	工学部 総合 工学科	デザイン コース	6月下旬	10月2日(火) ～9日(火)	10月27日(土) ～28日(日)	第1次選抜合格者: 10月28日(日) 第2次選抜合格者: 11月16日(金) 最終合格者: 2月13日(水)	2月19日(火)
		物質 科学 コース			方式 I	10月10日(水) ～12日(金)	
方式 II					10月27日(土)	最終合格者: 2月13日(水)	
園芸学部	7月中旬	10月9日(火) ～11日(木)	10月12日(金) ～17日(水) 11月11日(日)	第1次選抜合格者: 10月26日(金) 第2次選抜合格者: 11月30日(金) 最終合格者: 2月13日(水)	2月19日(火)		

選抜		日程	要項発表	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続
推薦入試	文学部		7月中旬	11月 1日(木) ～ 5日(月)	11月17日(土) ～18日(日)	12月14日(金)	2月19日(火)
	教育◆改組予定 学部	センター試験を課さない	8月下旬	11月 1日(木) ～ 5日(月)	11月17日(土)	11月30日(金)	2月19日(火)
		センター試験を課す				合格内定者：11月30日(金) 最終合格者：2月13日(水)	
	理学部		7月中旬	11月 1日(木) ～ 2日(金)	11月10日(土)	11月30日(金)	2月19日(火)
	薬学部		7月中旬	11月 1日(木) ～ 5日(月)	11月17日(土) ～18日(日)	2月13日(水)	2月19日(火)
看護学部		6月上旬	11月 1日(木) ～ 5日(月)	11月17日(土)	11月30日(金)	2月 8日(金)	
園芸産業創発学 プログラム選抜		園芸学部	7月中旬	10月29日(月) ～31日(水)	11月10日(土) ～11日(日)	合格内定者：11月30日(金) 最終合格者：2月13日(水)	2月19日(火)
帰国子女入試	薬学部	4月入学	7月中旬	11月 1日(木) ～ 5日(月)	11月17日(土) ～18日(日)	12月 7日(金)	3月14日(木) ～15日(金)
		9月入学 (秋入学)	平成31年 3月下旬	平成31年 6月 3日(月) ～13日(木)	平成31年 6月29日(土)	平成31年 7月26日(金)	平成31年 8月 7日(水)
社会人入試	文学部		7月中旬	10月 1日(月) ～ 3日(水)	11月17日(土)	12月14日(金)	3月14日(木) ～15日(金)
	看護学部		6月上旬	8月 1日(水) ～ 6日(月)	9月20日(木)	10月 5日(金)	2月 8日(金)
先進科学プログラム (飛び入学)学生選抜		方式Ⅰ	7月下旬	11月19日(月) ～26日(月)	12月22日(土) ～23日(日・祝)	第1次判定合格者 12月23日(日・祝) 最終合格者 1月17日(木)	2月19日(火)
		方式Ⅱ		1月28日(月) ～2月 6日(水)	2月25日(月) 3月17日(日)	第1次判定合格者 3月9日(土) 最終合格者 3月20日(水)	3月26日(火) ～27日(水)
		方式Ⅲ	10月下旬	平成31年 6月上旬 ～中旬	平成31年 7月14日(日) ～15日(月・祝)	第1次判定合格者 平成31年7月15日(月・祝) 最終合格者 平成31年8月上旬	平成31年 8月中旬
私費外国人留学生入試	文学部		7月中旬	11月 1日(木) ～ 5日(月)	12月 8日(土)	1月17日(木)	2月19日(火)
	法政経学部		7月中旬	10月29日(月) ～31日(水)	11月25日(日)	12月19日(水)	2月19日(火)
	教育学部 ◆改組予定		11月	1月28日(月) ～30日(水)	2月22日(金), 25日(月)	3月 9日(土)	3月14日(木) ～15日(金)
	理学部		7月中旬	10月30日(火) ～31日(水)	11月10日(土)	11月30日(金)	2月19日(火)
	工学部 日本大学連合 学力試験利用		6月下旬	10月 2日(火) ～ 9日(火)	10月27日(土)	11月16日(金)	2月19日(火)
							1月中旬(予定)
	園芸学部		7月中旬	10月29日(月) ～31日(水)	11月10日(土)	11月30日(金)	2月19日(火)
	医学部		11月	1月28日(月) ～30日(水)	2月25日(月) ～26日(火)	3月 9日(土)	3月14日(木) ～15日(金)
	薬学部		11月	1月28日(月) ～29日(火)	2月25日(月) ～26日(火)	3月 9日(土)	3月14日(木) ～15日(金)
看護学部		11月上旬	1月22日(火) ～23日(水)	2月15日(金)	3月 9日(土)	3月14日(木) ～15日(金)	

### 3. 募集人員

学部	学科・課程	入学定員		募集人員						
				一般入試		特別入試				
				前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試	園芸産業創発学プログラム選抜	帰国子女入試(4月入学・9月入学)	社会人入試
国際教養学部	国際教養学科	90	85	-	5	-	-	-	-	
文学部	人文学科	170	125	21	-	24	-	-	※	
法政経学部	法政経学科	370	295	70	5	-	-	-	-	
教育学部 ◆改組予定	小学校教員養成課程	245	195	-	50	-	-	-	-	
	中学校教員養成課程	85	65	-	-	20	-	-	-	
	特別支援教育教員養成課程	20	15	-	-	5	-	-	-	
	幼稚園教員養成課程	20	15	-	-	5	-	-	-	
	養護教諭養成課程	35	25	-	-	10	-	-	-	
	計	405	315	-	50	40	-	-	-	
理学部	数学・情報数理学科	44	29	15	-	-	-	-	-	
	物理学科	39	23	12	-	4	-	-	-	
	化学科	39	31	8	-	-	-	-	-	
	生物学科	39	29	10	-	-	-	-	-	
	地球科学科	39	30	5	-	4	-	-	-	
	計	200	142	50	-	8	-	-	-	
工学部	総合工学科	620	466	124	30	-	-	-	-	
園芸学部	園芸学科	64	44	12	2	-	6	-	-	
	応用生命化学科	31	20	7	4	-	-	-	-	
	緑地環境学科	66	40	17	9	-	-	-	-	
	食料資源経済学科	29	17	8	-	-	4	-	-	
	計	190	121	44	15	-	10	-	-	
医学部	医学科	117	97	20	-	-	-	-	-	
薬学部 ◆変更予定	薬学科	(40)	80	-	-	10	-	※	-	
	薬科学科	(40)		10	-	-	-	-	-	
看護学部	看護学科	80	49	-	-	24	-	-	7	
合計		2,322	1,755	339	105	106	10	-	7	

注) 帰国子女入試は、4月入学では薬学科・薬科学科を一括募集し、9月入学(秋入学)では薬科学科のみ募集します。  
※印は若干名を示します。

上記の他に、下記の先進科学プログラム(飛び入学)学生選抜の募集があります。

方式	募集分野 / 学部・学科・コース		募集人員
I	物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
	工学関連分野	工学部：総合工学科(物質科学コース)	
II	物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
	化学関連分野	理学部：化学科	
	生物学関連分野	理学部：生物学科	
	工学関連分野	工学部：総合工学科(全コース)	
	植物生命科学関連分野	園芸学部：応用生命化学科	
人間科学関連分野	文学部：人文学科(行動科学コース)		
III	物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
	工学関連分野	工学部：総合工学科(デザインコース, 電気電子工学コース, 物質科学コース)	

【備考】

1. 入学定員のうち、以下の選抜の募集人員（若干名）は前期日程の募集人員に含まれます。

入試	学部・学科等
帰国子女入試	薬学部
社会人入試	文学部：人文学科（歴史学コース）

2. 以下の選抜の合格者（入学手続き者）が募集人員に満たなかった場合は、前期日程の合格者で補充します。

選抜・入試	学部・学科等
AO入試	実施する学部・学科等が対象
推薦入試	実施する学部・学科等が対象（理学部物理学科を除く）
園芸産業創発学プログラム選抜	園芸学部：園芸学科，食料資源経済学科
社会人入試	看護学部

3. 以下の選抜の合格者（入学手続き者）が募集人員に満たなかった場合は、後期日程の合格者で補充します。

入試	学部・学科
推薦入試	理学部：物理学科

4. 国際教養学部

国際教養学部における一般入試の募集人員は次のとおりです。

学科	一般入試（前期日程）募集人員	
国際教養学科	計 85 名	通常型入試 75 名
		特色型入試 10 名

- ※ 通常型入試と特色型入試の2種類の入学試験を実施し、それぞれの入試ごとに選抜を行います。
- ※ 通常型入試と特色型入試の同時出願はできません。（出願時に選択することになります。）
- ※ 他にAO入試（募集人員5名）があります。詳細は34ページを参照してください。

5. 文学部

文学部では、次のとおりコースごとに募集します。出願した専門コースで合格すれば「人文学科」の志願した専門コースに所属します。ただし、2年次進級時に別の専門コースへ進むことを希望すれば、その専門コースへ進むこともできますが、各コースが課している条件や教室設備等の関係により、一定の制限があります。

コース	募集人員			
	一般入試		特別入試	
	前期日程	後期日程	推薦入試	社会人入試
行動科学コース	49	15	9	-
歴史学コース	23	3	5	若干名
日本・ユーラシア文化コース	28	3	-	-
国際言語文化学コース	25	-	10	-

- ※ 各コースの募集人員はおおよその人数であり、志願状況等により増減することがあります。

6. 法政経学部

法政経学部（法政経学科）では、2年次進級時に各コース（法学コース，経済学コース，経営・会計系コース，政治学・政策学コース）を希望により選択することができます。

- ※ 他に法政経学部法政経学科経済学コース経済学特進プログラムAO入試（募集人員5名）があります。

7. 教育学部

◆教育学部は平成 31 年 4 月に学部改組を計画しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更がありえます。(改組の詳細並びに改組が確定した場合の募集人員等については、2～6 ページを参照してください。)

(1) 小学校教員養成課程における一般入試の募集人員(計 195 名)、選抜方法及び選修決定方法は次のとおりです。

選修	募集人員	選抜方法及び選修決定方法
国語科選修	25 名	<p>左記の 9 選修の全出願者を 1 つの選抜区分として選抜を行います。9 選修のうち、いずれかの選修に所属することを希望する場合、個別学力検査等の出題教科・科目等は、「国語または数学」「外国語」および「面接」となります。出願時に受験する教科として「国語または数学」のどちらかを選択してください。</p> <p>なお、所属する選修は、合格発表後に左記の選修の中から第 1 希望から第 9 希望までの申請により、学力検査の成績と希望選修を勘案して決定します。(希望する選修の申請手続きについては、合格発表後に合格者にお知らせします。)</p>
社会科選修	26 名	
算数科選修	20 名	
理科選修	20 名	
家庭科選修	9 名	
教育学選修	26 名	
教育心理学選修	21 名	
ものづくり・技術選修	8 名	
小学校英語選修	9 名	
音楽科選修	9 名	<p>左記の 3 選修の出願者をそれぞれの選抜区分として選抜を行います。これら 3 選修のうち、いずれかの選修に所属することを希望する場合、個別学力検査等の出題教科・科目等は、「実技」「外国語」および「面接」となります。出願時に受験する「実技」として、音楽科選修を希望する場合は音楽、図画工作科選修を希望する場合は図工、体育科選修を希望する場合は体育を選択してください。</p> <p>所属する選修は、受験する「実技」の内容に対応した選修に決定します。</p>
図画工作科選修	9 名	
体育科選修	13 名	

※ 各選修の募集人員はおおよその人数であり、志願状況等により増減することがあります。

※ 他に A O 入試(募集人員 50 名)があります。詳細は 36 ページを参照してください。

(2) 中学校教員養成課程における一般入試の募集人員は次のとおりです。(分野ごとに募集します。)

前期日程 募集人員	国語科 教育分野	社会科 教育分野	数学科 教育分野	理 科 教育分野	音楽科 教育分野	美術科 教育分野	保健体育科 教育分野	技術科 教育分野	家庭科 教育分野	英語科 教育分野
計 65 名	7 名	7 名	8 名	8 名	5 名	5 名	8 名	5 名	5 名	7 名

※ 各分野の募集人員はおおよその人数であり、志願状況等により増減することがあります。

※ 他に推薦入試(募集人員 20 名)があります。詳細は 42 ページを参照してください。

## 8. 工学部

工学部では、次のとおりコースごとに入学者を募集します。出願したコースで合格すれば「総合工学科」の志願したコースに配属します。また、1年次の教育は、複数のコースを束ねた4つの系（「建築・デザイン系（約160名）」、「機械・応用物理系（約130名）」、「電気・情報系（約190名）」、「応用化学・環境系（約140名）」）を設置して実施し、2年次進級時から各コースに正式に配属して専門的な教育を行います。

2年次進級時には、入学時に配属したコースに進学することが可能ですが、希望により1年次に所属する系内の別のコースへ進むこともできます。ただし、別のコースに進む場合は、面接により教育上の必要性を判断します。また、各コースが課している条件や教室設備等の収容人数の関係により、一定の制限があり、希望者が多数となった場合は1年次の成績により可否を決定します。なお、コースを限った入学者選抜で入学した者は、コースの変更はできません。

### (1) 募集人員及び系について

コース	募集人員			系(1年次の教育)			
	一般入試		特別入試	建築・デザイン系	機械・応用物理系	電気・情報系	応用化学・環境系
	前期日程	後期日程	AO入試				
建築学コース	(50)	(19)	-	◎	-	-	-
都市環境システムコース	(37)	(15)	-	○	○	○	○
デザインコース	(44)	-	20	◎	-	-	-
機械工学コース	(55)	(19)	-	-	◎	○	-
医工学コース	(30)	(9)	-	-	○	○	-
電気電子工学コース	(55)	(19)	-	-	○	◎	-
物質科学コース	(68)	-	10	-	◎	○	◎
共生応用化学コース	(70)	(24)	-	-	-	-	◎
情報工学コース	(57)	(19)	-	-	-	◎	-
計	466	124	30	(160)	(130)	(190)	(140)

各コースの募集人員〔( )内の数〕及び系ごとの人数はおおよその人数であり、志願状況等で増減します。

また、系(1年次の教育)において、◎は各コース配属者の大多数が所属する系を示します。また、○は各コース配属者の一部が所属する系を示します。系の所属希望は、出願時に志願するコースとともに申告してもらいます。

### (2) 系についての説明

入学後に履修する英語科目、初修外国語科目、情報リテラシー科目、教養コア科目、数学、物理、化学などの授業科目に加えて、一部の専門科目の時間割は系ごとに決められ、それに従って履修することとなります。1年次の授業については、工学全体を理解するための授業（工学基礎セミナーI・II）、所属する系に関係するコースを中心に各コースの専門分野について理解を深めるための授業（工学入門A～C）を実施し、2年次以降のコース配属や専門的な授業の履修に繋がるよう配慮がなされます。

建築・デザイン系：建築学コース、都市環境システムコース、デザインコースに配属された学生が所属する系です。

機械・応用物理系：都市環境システムコース、機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース、物質科学コースに配属された学生が所属する系です。

電気・情報系：都市環境システムコース、機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース、物質科学コース、情報工学コースに配属された学生が所属する系です。

応用化学・環境系：都市環境システムコース、物質科学コース、共生応用化学コースに配属された学生が所属する系です。

## 9. 薬学部

◆薬学部は平成31年度から募集人員の変更を予定しています。（詳しくは、7ページを参照してください。）

薬学部は、薬学科（6年制：40名）と薬科学科（4年制：40名）で構成されています。

前期日程及び4月入学帰国子女入試については、学科を決めずに一括募集し、学科への配属（薬学科30名、薬科学科30名）は3年次進級時に本人の希望・学業成績により決定します。

後期日程及び9月入学帰国子女入試については、薬科学科（4年制）のみで募集します。

推薦入試については、薬学科（6年制）のみで募集します。

※ 薬剤師国家試験の受験資格は、薬学科（6年制）の卒業生に与えられます。

## 4. 一般入試

### (1) 出 願

#### ア 出願資格

平成 31 年 1 月実施の平成 31 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で各学部・学科・課程・コース・分野が指定する教科・科目を受験した者で、大学入学資格を有するもの又は平成 31 年 3 月までに有する見込みのもの

- (注) 「大学入学資格を有する（平成 31 年 3 月までに有する見込みのもの）」の主な例は、次のとおりです。  
なお、⑧の個別の入学資格審査を受けようとする者は、学務部入試課入試係（電話 043-290-2182）へ資格審査の申請方法等を確認の上、9 月 7 日（金）までに本学へ資格審査の申請を行ってください。
- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した（見込みの）者
  - ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した（見込みの）者※  
※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次を修了した（見込みの）者が該当します。
  - ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した（見込みの）者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した（見込みの）者
  - ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した（見込みの）者
  - ⑥ 文部科学大臣の指定した者
  - ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した（見込みの）者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
  - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 3 月までに 18 歳に達するもの

#### イ 出願の際の留意事項等

- ① 一般入試に出願する場合、国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）のうち、前期日程試験を実施する大学・学部から 1 つ、後期日程試験を実施する大学・学部から 1 つ出願することができます。国公立大学・学部の前期日程を複数出願する、後期日程を複数出願することはできません。  
※ 独自日程で入学者選抜試験を行っている公立大学・学部については、公立大学協会のホームページを参照してください。（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）
- ② 本学及び他の国公立大学で実施する推薦入試、AO入試※に合格した者は、当該大学の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学が行う一般入試を受験しても合格者とはなりません。  
※ 本学においては園芸産業創発学プログラム選抜も AO入試に含まれます。
- ③ 一般入試の可否及び入学手続等に関する個人情報は、大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供され、国公立大学の分離分割方式の合格者の決定を行うための情報として利用されます。
- ④ 入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

### (2) 入学者選抜

#### ア 選抜方法等

##### (7) 選抜方法

入学者の選抜は、平成 31 年度大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行います。（過年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。）

合格者の決定は、総合得点により行います。

なお、同点者の順位決定については、文学部、法政経学部、工学部、医学部及び薬学部においては、本学の個別学力検査等の得点が上位の者を優先します。

また、合否判定基準を別に定めている学部があります。（(7)合否判定基準参照）

#### (4) 2段階選抜の実施

第1段階選抜の予告倍率を掲げる学部・学科については、志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、2段階選抜（各学部・学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目の成績（素点）の総得点により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行う。）を実施することがあります。（下表参照。ただし、予告倍率を緩和する場合があります。）

学部・学科		第1段階選抜の予告倍率	
		前期日程	後期日程
国際教養学部	国際教養学科【特色型入試】	4倍	
法政経学部	法政経学科	3.5倍	13倍
医学部	医学科	3倍	7倍

#### (4) 合否判定基準

教育学部，工学部，医学部

個別学力検査等の得点が当該学部・学科等受験者（※）の平均点に満たない教科・科目等があった場合には、不合格とすることがあります。

※教育学部小学校教員養成課程は選抜区分受験者

#### イ 実施教科・科目等

##### (7) 大学入試センター試験の指定教科・科目等

大学入試センター試験の指定教科・科目等は16～20ページの表のとおりです。各学部・学科・課程・コース・分野が指定する教科・科目等を受験していない場合は、本学の個別学力検査等を受験できません。

(注) 1. 各学部・学科・課程・コース・分野が指定する大学入試センター試験の教科・科目において、複数の受験パターンが認められている場合があります。その場合には、いずれかの受験パターンを満たしていれば本学の個別学力検査等を受験できます。

なお、複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となる受験パターンを選抜で利用します。

2. 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」において、各学部・学科・課程・コース・分野の指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目（その教科の試験時間中の前半で解答する科目）で指定する科目を受験してください。（第1解答科目の成績を合否判定に利用します。）

なお、指定する科目を第1解答科目で受験せず、第2解答科目（試験時間中の後半で解答する科目）で受験している場合、失格にはなりません。その科目の成績は0点として扱いますので注意してください。

3. 大学入試センター試験の「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。

4. 大学入試センター試験のリスニングは「英語」の一領域です。大学入試センター試験の外国語において「英語」を選択する受験者は、筆記試験とリスニングの双方を受験してください。（大学入試センター試験においてリスニングを免除された者を除く。）

5. 表中の大学入試センター試験の科目名は、次のように略してあります。

「世界史A」→ 世A      「世界史B」→ 世B      「日本史A」→ 日A      「日本史B」→ 日B  
「現代社会」→ 現社      「倫理，政治・経済」→ 倫政経  
「数学Ⅰ」→ 数Ⅰ      「数学Ⅰ・数学A」→ 数ⅠA  
「数学Ⅱ」→ 数Ⅱ      「数学Ⅱ・数学B」→ 数ⅡB  
「簿記・会計」→ 簿      「情報関係基礎」→ 情  
「物理基礎」→ 物基      「化学基礎」→ 化基      「生物基礎」→ 生基      「地学基礎」→ 地基  
「物理」→ 物      「化学」→ 化      「生物」→ 生  
「英語」→ 英      「ドイツ語」→ 独      「フランス語」→ 仏      「中国語」→ 中  
「韓国語」→ 韓

[表の見方]

大学入試センター試験の指定教科	大学入試センター試験の指定教科・科目																								
	国語		地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語										
→ 指定する科目	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	簿	情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓			
→ 指定する科目数	1	2		2		1		1		1		2		2		1		1				1			
→ 指定する科目	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	簿	情				物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
→ 指定する科目数	1	2		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目（その教科の試験時間中の前半で解答する科目）を受験してください。（第1解答科目の成績を合否判定に利用します。）																								

(注) 学部・学科・課程・コース・分野ごとに、指定する教科・科目及び指定する科目数が異なりますので注意してください。

(例) 大学入試センター試験の指定教科・科目のパターンが複数ある場合、備考欄で指定教科・科目の見方は次のとおりです。  
 パターン①で受験する場合の大学入試センター試験の指定教科、科目の見方は次のとおりです。  
 国語 : 国語を受験。  
 地理歴史, 公民 : 世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」から2科目を受験。  
 数学① : 数学I, 数学II, 数学Aから1科目を受験。  
 数学② : 数学I, 数学II, 簿記・会計, 情報関係基礎から1科目を受験。  
 理科① : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目を受験。  
 理科② : パターン①では、理科②の科目は指定科目となっておりません。  
 外国語 : 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験。

[大学入試センター試験の指定教科・科目等]

学部・学科・課程・コース・分野	国際教養学部	大学入試センター試験の指定教科・科目																								
		国語		地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語										
国際教養学部	【通常型入試】 【特色型入試】	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB	簿	情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓				
		1	2		2		1		1		2		2		1		1		1							
		②	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB	簿	情					物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
		1	2		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1			
国際教養学部	【通常型入試】 【特色型入試】	③	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB	簿	情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓				
		1	1		1		1		1		2		2		1		1		1							
		④	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB	簿	情					物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
		1	1		1		1		1		1		1		2		2		1		1		1			
備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②③④のいずれでも構いません。 パターン③の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。 (注)地理歴史及び公民並びに理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目（その教科の試験時間中の前半で解答する科目）を受験してください。（第1解答科目の成績を合否判定に利用します。）																									

大学入試センター試験の指定教科・科目																							
学部・学科・課程・コース・分野	日程	パターン	地理歴史		公民		数学①		数学②				理科①			理科②			外国語				
			世B	日B	地理B	倫政経	数IA	数IB	簿	情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓				
人文学科 行動科学コース	前期 後期	①	世B	日B	地理B	倫政経	数IA	数IB	簿	情	物基	化基	生基	地基					英	独	仏	中	韓
			2						1				2										1
人文学科 行動科学コース	前期 後期	②	世B	日B	地理B	倫政経	数IA	数IB	簿	情	物基	化基	生基	地基					英	独	仏	中	韓
			1 (注)						1				2										1
		備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 英語はリスニングの成績を利用しません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。 (注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																				
人文学科 歴史学コース 日本・ユーラシア文化 コース	前期 後期	①	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数IA	数II	数IB	簿	情	物基	化基	生基	地基			英	独	仏	中	韓
			2						1				2										1
人文学科 国際言語文化学コース	前期	②	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数IA	数II	数IB	簿	情	物基	化基	生基	地基			英	独	仏	中	韓
			2						1				1 (注)										1
		備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。 (注) 理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																				

大学入試センター試験の指定教科・科目																							
学部・学科・課程・コース・分野	日程	パターン	地理歴史		公民		数学①		数学②			理科①			理科②			外国語					
			世B	日B	地理B	倫政経	数IA	数IB	簿	情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓				
法政経学部	前期 後期	①	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1		
			1	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
教育学部	前期	備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)を 受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																				
			①	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
			②	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
			③	1	1(注)	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
◆改組予定	前期	備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②③④のいずれでも構いません。 パターン③の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択 することができません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)地理歴史及び公民並びに理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目) で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																				
			①	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
◆改組予定	前期	備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)を 受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																				
			②	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	

学部・学科・課程・コース・分野		大学入試センター試験の指定教科・科目																											
日程	パターン	地理歴史				公民				数学①				数学②				理科①				理科②				外国語			
		国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	簿	情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓			
教育学部 ◆改組予定	①	国語	1		1 (注)				1						2					1					1				
		国語	1		1 (注)				1											1					1				
		<p>指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。            パターン①の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。            「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。            (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)</p>																											
理学部	①	国語	1		1 (注)				1						2					1					1				
		国語	1		1 (注)				1											1					1				
		<p>(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)</p>																											
工学部	①	国語	1		1 (注)				1						1					1					1				
		国語	1		1 (注)				1											1					1				
		<p>理科の指定科目は、化学(必須)と物理、生物、地学のいずれか(選択)の2科目です。            (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)</p>																											
		<p>(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)</p>																											

大学入試センター試験の指定教科・科目

学部・学科・課程・コース・分野	日程	パターン	大学入試センター試験の指定教科・科目																
			国語	地理歴史		公民		数学①	数学②		理科①	理科②		外国語					
工学部	前期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB		物	化	英	独	仏	中	韓
			1	1 (注)					1	1	2								
	備考		(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
園芸学部	前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB		物	化	英	独	仏	中	韓
			1	2					1	1	2								
	備考		(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
食料資源経済学科	前期 後期	②	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB		物	化	英	独	仏	中	韓
			1	1 (注)					1	1	2								
	備考		指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 (注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
医学部	前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB		物	化	英	独	仏	中	韓
			1	1 (注)					1	1	2								
	備考		(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
薬学部	前期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB		物	化	英	独	仏	中	韓
			1	1 (注)					1	1	2								
	備考		(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
薬学部	後期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB		物	化	英	独	仏	中	韓
			1	1 (注)					1	1	(1)		1	(1)					
	備考		理科の指定科目は、化学(必須)と物理、生物のいずれか(選択)の2科目です。 (注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
看護学部	前期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB		物	化	英	独	仏	中	韓
			1	1 (注)					1	1	2								
	備考		(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																

(イ) 個別学力検査等の出題教科・科目等

個別学力検査等の出題教科・科目等は 22～27 ページのとおりです。出願する学部・学科・課程・選修・コース・分野の出題教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には欠席者となり、合格者となりません。

ただし、国際教養学部国際教養学科通常型入試の受験希望者で、本学が指定する外国語検定試験の等級又はスコアを取得し、個別学力検査の「外国語」の点数を満点として換算することが認められた場合には、個別学力検査の「外国語」の受験を免除します。

注 1. 個別学力検査等で出題する科目は、すべての項目を出題範囲とします。ただし、次の科目においては、出題範囲を指定します。

科目名	出題範囲
数学B	『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とする。

2. 次ページ表中の個別学力検査等の教科・科目名は、次のように略してあります。

教科名	科目名
国語→国	「国語総合」→国総 「国語表現」→国表 「現代文A」→現文A 「現代文B」→現文B
地理歴史→地歴	「世界史B」→世B 「日本史B」→日B
数学→数	「数学Ⅰ」→数Ⅰ 「数学Ⅱ」→数Ⅱ 「数学Ⅲ」→数Ⅲ 「数学A」→数A 「数学B」→数B
理科→理	「物理基礎」→物基 「化学基礎」→化基 「生物基礎」→生基 「地学基礎」→地基 「物理」→物 「化学」→化 「生物」→生
外国語→外	「コミュニケーション英語Ⅰ」→コミュ英Ⅰ 「コミュニケーション英語Ⅱ」→コミュ英Ⅱ 「コミュニケーション英語Ⅲ」→コミュ英Ⅲ

## (前期日程)

日程	学部	学科・課程・選修・コース・分野	個別学力検査等(前期日程)の出題教科・科目等	特記事項	
前期	国際教養学部	※国際教養学部志望者は通常型入試と特色型入試のどちらかで受験するか選択すること。			
		国際教養学科	【通常型入試】	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 又は 理(物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から1)	国語又は理科のどちらかの教科を選択すること。(理科を選択する場合、受験する科目も選択すること。)
				数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 又は 地歴(世B、日Bから1)	数学又は地理歴史のどちらかの教科を選択すること。(地理歴史を選択する場合、受験する科目も選択すること。) 数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて本科目を満点とし受験を免除するか、所定の点数を加点する。詳細については、29、30ページを参照のこと。
		【特色型入試】	小論文	読解力、考察力、表現力などを総合的に評価する。	
			面接(英語)	英語によるコミュニケーション能力、思考力を評価する。	
			人 行動科学コース	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
		文 歴史学コース 国際言語文化学コース	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 地歴(世B、日Bから1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
			部 日本・ユーラシア文化コース	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 地歴(世B、日Bから1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、29、30ページを参照のこと。
				法政経学部	法政経学科
	教育学部	◆ 養成 改組 予定 課程		国語科選修 社会科選修 算数科選修 理科選修 家庭科選修 教育学選修 教育心理学選修 ものづくり・技術選修 小学校英語選修	国(現文A・現文B・古典A・古典B) 又は 数(数Ⅰ・数A)
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
			面接		教育への関心と意欲、思考力、コミュニケーション能力など、小学校教員にふさわしい資質・能力を総合的に評価する。面接形態は、集団面接とする。

## (前期日程)

日程	学部	学科・課程・選修・コース・分野	個別学力検査等(前期日程)の出題教科・科目等	特記事項	
前 期 組 員 予 成 課 程	教 育 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 員 養 成 課 程 音楽科選修 図画工作科選修 体育科選修	実技(音楽, 図工, 体育に関する実技から1)	音楽: 詳細については28ページを参照のこと。 図工: 「身近な静物のスケッチ」を実施する。基礎能力としての観察力, 表現力等を総合的に評価する。 用具として鉛筆(2H~6B程度), 消しゴム, 練りゴム等を持参すること。 (デッサン用スケールは使用不可) 体育: 基礎的運動技能に関する体育実技を実施する。  【選修の決定方法】 所属する選修は, 受験する実技科目の内容に対応した選修に決定する。(例: 音楽に関する実技を受験して合格した場合には, 音楽科選修に所属)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
			面接	音楽: 小学校教育及び選修に関わる質問などを行い, 小学校教員及び選修教科の資質と適性を総合的に評価する。 面接形態は, 個人面接を原則とする。 図工: 小学校教育及び選修に関わる質問などを行い, 小学校教員及び選修教科の資質と適性を総合的に評価する。 面接形態は, 個人面接を原則とする。 体育: 小学校教育及び選修に関わる質問などを行い, 小学校教員及び選修教科の資質と適性を総合的に評価する。 面接形態は, 集団面接とする。(受験者数によっては個人面接に変更することがある。)	
	中 学 校 改 組 員 予 成 課 程	◆	国語科教育分野	国(現文A・現文B・古典A・古典B)	現代文, 古典を素材とする理解, 表現, 知識にかかわる問題を課す。
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
				専門適性検査	中学校国語科に関する教員にふさわしい資質と適性を評価するため, 集団討論を行う。受験者には受験時にその場で与えられた課題について少人数のグループで議論をしてもらい, 国語科教員を目指す上で必要とされる資質や他者と円滑にコミュニケーションを行う能力, 与えられた課題に対して自身の考えを他者に伝えるプレゼンテーション能力などを総合的に評価する。
		教 員 養 成 予 成 課 程	社会科教育分野	小論文	社会事象に関して, 自己の論点を組み立てて, 記述する。
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
				専門適性検査	中学校社会科に関する教員にふさわしい資質と適性を評価するため, 集団討論を行う。受験者には受験時にその場で与えられた課題について集団討論のための準備を行った後, グループで議論をしてもらい, その内容を複数の教員が確認して社会科教員を目指す上で必要とされる資質や他者と円滑にコミュニケーションを行う能力, 与えられた課題に対して自身の考えを他者に伝えるプレゼンテーション能力などを総合的に評価する。
	数 学 科 教 育 分 野	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)	数Bの出題範囲については, 21ページを参照のこと。		
		外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)			
		専門適性検査	中学校数学科に関する教員にふさわしい資質と適性を評価する。受験者にはその場で与えられたテーマについて話し合い活動を行ってもらい, 数学科教員を目指す上で必要とされる資質や他者と円滑にコミュニケーションを行う能力, 与えられたテーマに対して自身の考えを他者に伝えるプレゼンテーション能力などを総合的に評価する。		

## (前期日程)

日程	学部	学科・課程・選修・コース・分野	個別学力検査等(前期日程)の出題教科・科目等	特記事項											
前期	部	組	◆	課	成	予	校	学	育	教	中	理科教育分野	理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2)		
													外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
													専門適性検査	中学校理科に関する教員としてふさわしい資質と適性を評価する。受験者はその場で与えられた課題について, 少人数のグループに分かれて集団討論を行う。理科教員を目指す上で必要とされる興味・関心の広さや深さのほか, 他者と円滑にコミュニケーションを行う能力, 与えられた課題に対して自身の考えを他者に伝えるプレゼンテーション能力などを総合的に評価する。	
													音楽科教育分野	実技	詳細については, 28ページを参照のこと。
														外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
														専門適性検査	初見を通して, 読譜力, 表現力などを発揮する活動を行い, 音楽科教員を目指す上で必要とされる基礎力や, コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力を総合的に評価する。
													美術科教育分野	実技	木炭紙又は木炭紙大の画用紙にデッサンを実施する。表現力, 構想力, 造形力, 物のとらえ方等を総合的に評価する。用具として木炭または鉛筆(2H~6B程度), 消しゴム, 練りゴム等を持参すること。(デッサン用スケールは使用不可)
														外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
														専門適性検査	美術作品の鑑賞を通して, 感性的な認識を言語化する能力, 中学校美術科教員を目指す上で必要とされるコミュニケーション能力, プレゼンテーション能力を総合的に評価する。
													保健体育科教育分野	実技	基礎的及び専門的運動技能に関する体育実技を実施する。
														外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
														専門適性検査	中学校保健体育科に関わる課題についてのグループ活動を行い, 保健体育科教員を目指す上で必要とされるコミュニケーション能力, プレゼンテーション能力を総合的に評価する。
													技術科教育分野	数(数Ⅰ・数A)	
														外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
														専門適性検査	中学校技術・家庭科の技術分野に関連する課題について, 技術的な課題解決能力や表現能力, あるいは製作を通して論理性や創造力を評価する。
													家庭科教育分野	小論文	社会と関わる生活事象に関する理解力, 論理的思考力, 考察力, 記述力等を総合的に評価する。
														外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
														専門適性検査	中学校技術・家庭科の家庭分野に関わる課題についてのグループ活動を行い, 家庭科教員を目指す上で必要とされるコミュニケーション能力, プレゼンテーション能力を総合的に評価する。
													英語科教育分野	ライティング(英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)	指定されたトピックについての英作文を課す。英語の文章構成能力, 文法力, 語彙力等を総合的に評価する。
														外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合, 成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については, 29, 30ページを参照のこと。
														専門適性検査	英語を使ったグループ活動を行い, 英語科教員を目指す上で必要とされる英語でのコミュニケーション能力, プレゼンテーション能力を総合的に評価する。

## (前期日程)

日程	学部	学科・課程・選修・コース・分野	個別学力検査等(前期日程)の出題教科・科目等	特記事項	
前期	教育学部	特別支援教育教員養成課程	国(現文A・現文B・古典A・古典B) 又は 数(数Ⅰ・数A)	国語又は数学のどちらかの教科を選択すること。 国語については、現代文、古典を素材とする基礎的な理解、表現、知識にかかわる問題を課す。	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
			専門適性検査	提示された課題への取り組みを通して、特別支援教育に携わる教員を目指す上で必要とされる理解力、思考力、判断力、表現力等の適性を総合的に判断する。	
		◆改組	幼稚園教員養成課程	国(現文A・現文B・古典A・古典B) 又は 数(数Ⅰ・数A)	国語又は数学のどちらかの教科を選択すること。 国語については、現代文、古典を素材とする基礎的な理解、表現、知識にかかわる問題を課す。
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
				専門適性検査	提示された課題への取り組みを通して、幼稚園教員を目指す上で必要とされる理解力、思考力、判断力、表現力等の適性を総合的に判断する。
	予定	養護教諭養成課程	保健体育(保健)	保健の知識をもとに養護教諭としての素養を総合的に評価する。	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
			面接	複数の教員による集団面接を行う。	
	学部	理学部	数学・情報数理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
				理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1)	
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
		理学部	物理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
				理(物基・物, 化基・化)	
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、29, 30ページを参照のこと。
		理学部	化学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
				理(化基・化) (物基・物, 生基・生, 地基・地学から1)	
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
理学部		生物学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。	
			理(生基・生) (物基・物, 化基・化から1)		
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
理学部	地球科学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。		
		理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2)			
		外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)			
工学部	総合工学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。		
		理(物基・物, 化基・化)			
		外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)			

## (前期日程)

日程	学部	学科・課程・選修・ コース・分野	個別学力検査等(前期日程) の出題教科・科目等	特記事項
前 期	園 芸 学 部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
			理(物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地学から2)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、29、30ページを参照のこと。
		食料資源経済学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、29、30ページを参照のこと。
			面接	
	医 学 部	医学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
			理(物基・物、化基・化、生基・生 から2)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
			面接	
	薬 学 部	薬学科 薬科学科 (一括募集)	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、21ページを参照のこと。
			理(化基・化)	
外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)				
看 護 学 部	看護学科	理(物基・物、化基・化、生基・生 から2)		
		外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、29、30ページを参照のこと。	
		面接		

## (後期日程)

日程	学部	学科・コース	個別学力検査等(後期日程) の出題教科・科目等	特記事項		
後 期	文 学 部	人 行 動 学 科	行動科学コース	小論文	英文読解力, 考察力, 論理的思考力等を総合的に評価する。	
		文 学 科	歴 史 学 科	歴史学コース	小論文	世界と日本の歴史, 歴史学に関する知識, 資料(外国語の場合もある)の読解力等を総合的に評価する。
			面 接			
		日 本 ・ ユ ー ラ シ ア 文 化 コ ー ス	日本・ユーラシア文化コース	小論文	日本及びユーラシアの文化に関する問題意識と知識, 想像力と論理的な文章を組み立てる力を総合的に評価する。	
	法政経学部	法政経学科	総合テスト	社会科学に関する英語の文章を出題し, その大意を理解するとともに, それを日本語で論理的に説明する能力を評価する。		
	理 学 部	数 学 ・ 情 報 数 理 学 科	数学・情報数理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数学に関する論述試験。数Bの出題範囲については, 21ページを参照のこと。	
		物 理 学 科	物理学科	総合テスト	物理(物基・物)に関する事柄を中心に, それに関連した数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)を含めて出題し, 思考力, 理解力, 表現力, 論理性等を総合的に評価する。数Bの出題範囲については, 21ページを参照のこと。	
		化 学 科	化学科	理(化基・化)		
		生 物 学 科	生物学科	理(生基・生)		
		地 球 科 学 科	地球科学科	理(地基・地学)		
	工 学 部	総 合 工 学 科	建 築 学 コ ー ス 機 械 工 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス 情 報 工 学 コ ー ス	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数学に関する論述試験。数Bの出題範囲については, 21ページを参照のこと。	
			理(物基・物)			
		学 科	都 市 環 境 シ ス テ ム コ ー ス 医 工 学 コ ー ス 共 生 応 用 化 学 コ ー ス	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数学に関する論述試験。数Bの出題範囲については, 21ページを参照のこと。	
			理(物基・物, 化基・化)			
	園 芸 学 部	園 芸 学 科	園芸学科	総合テスト	生物(生基・生)に関する事項を中心に日本語又は英語で書かれた設問を与え, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力, 論理性等を総合的に評価する。	
		応 用 生 命 化 学 科	応用生命化学科	理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2)		
		緑 地 環 境 学 科 食 料 資 源 経 済 学 科	緑地環境学科 食料資源経済学科	小論文	論理的思考力, 理解力, 創造力, 表現力等を総合的に評価する。	
	医 学 部	医 学 科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数学に関する論述試験。数Bの出題範囲については, 21ページを参照のこと。	
			理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2)			
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)	外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)	英語に関する事柄について設問を与えて, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力等を総合的に評価する。	
			面 接			
薬学部	薬科学科	理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2)				

(ウ) 教育学部小学校教員養成課程 音楽科選修 演奏実技の実施要領等

[共通実技（声楽・器楽（ピアノ）ともに全員受験してください）]

(a) コールユーブンゲン

- ・第1巻の中から試験の際に指定します。
- ・唱法は固定ド，移動ドのいずれでもかまいません。

(b) 音階（ピアノ）

- ・ハノン 39 番から試験の際に指定する長調と短調の音階を暗譜で演奏します。

[選択実技（声楽または器楽（ピアノ）のいずれかを選択してください）]

(c) 声楽 課題曲（※）の中から任意の1曲を暗譜で演奏します。

(d) 器楽（ピアノ） 課題曲（※）の中から任意の1曲を暗譜で演奏します（繰り返しなし）。

※ 課題曲は8月下旬頃に決定します。詳細は千葉大学教育学部ホームページ (<http://www.education.chiba-u.jp/>) を参照してください。

(エ) 教育学部中学校教員養成課程 音楽科教育分野 演奏実技の実施要領等

(ア)，(イ)，(ウ)，(エ) は全員受験してください。

[Ⅰ群] を選択する場合は (オ)，(カ)，(キ) を，[Ⅱ群] を選択する場合は (ク)，(ケ) を受験してください。

[共通実技（Ⅰ群・Ⅱ群ともに）]

(ア) 聴音（楽典の内容を含みます）

(イ) コールユーブンゲン

- ・第1巻の中から試験の際に指定します。
- ・唱法は固定ド，移動ドのいずれでもかまいません。

(ウ) コンコーネ

- ・コンコーネ 50 番の中から3曲を課題曲（※）とし，試験の際に1曲を指定します。
- ・唱法は，母音アにより，暗譜，繰り返しなしで演奏します。
- ・高声用，中声用のいずれを使用してもかまいませんが，高・中声用以外の任意の調に移調した楽譜は使えません。

(エ) 音階（ピアノ）

- ・ハノン 39 番から試験の際に指定する長調と短調の音階を暗譜で演奏します。

[Ⅰ群]

(オ) 日本歌曲 課題曲（※）の中から任意の1曲を暗譜で演奏します。

(カ) 外国歌曲 課題曲（※）の中から任意の1曲を原語及び暗譜で演奏します。

(キ) ピアノ 課題曲（※）の中から任意の1曲を暗譜で演奏します。

[Ⅱ群]

(ク) [Ⅰ群] 中の (オ) 日本歌曲，(カ) 外国歌曲の課題曲（※）の中から，任意の1曲を原語及び暗譜で演奏します。

(ケ) ピアノ 課題曲（※）の中から任意の2曲を暗譜で演奏します。

※ 課題曲は8月下旬頃に決定します。詳細は千葉大学教育学部ホームページ (<http://www.education.chiba-u.jp/>) を参照してください。

(オ) 入学者選抜（一般入試）における外国語検定試験成績の利用

入学者選抜（一般入試）において、下記の学部・学科では本学が指定する外国語検定試験の等級又はスコアを取得していれば、個別学力検査の「外国語」の得点を満点に換算※、又は「外国語」の得点到所定の点数を加点することができます。（満点を上限とします。）

※個別学力検査の「外国語」の得点を満点に換算できるのは国際教養学部のみとなります。なお、満点として換算することが認められた場合、個別学力検査の「外国語」の受験は免除します。

◆教育学部は平成31年4月に学部改組を計画しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更がありえます。（改組の詳細については、2～6ページを参照してください。）

【一般入試における外国語検定試験成績の利用を行う学部】

日程	外国語検定試験成績を利用する学部・学科等	備考
前期日程	国際教養学部【通常型入試】	※特色型入試受験者は利用できません。
前期日程	文学部（人文学科 日本・ユーラシア文化コース）	
前期日程	教育学部（中学校教員養成課程 英語科教育分野）	
前期日程	理学部（物理学科）	
前期日程	園芸学部	
前期日程	看護学部	

【外国語検定試験の得点換算】

個別学力検査の「外国語」の得点到換算できる外国語検定試験の等級又はスコアは次のとおりです。なお、対象となる外国語検定試験は平成28年1月1日以降に受験した試験で、利用できる外国語検定試験の種類は1つのみとします。

【例】 GTEC CBTで1190以上を取得している場合、国際教養学部は個別学力検査の外国語（配点300点）の得点を満点（300点）として換算し、その他は個別学力検査の外国語の得点到加点（B1・B2パターンは30点、Cパターンは10点）します。なお、加点した結果、英語の配点を超えた場合、満点（たとえば配点が300点のとき300点）とします。

Aパターン：国際教養学部【通常型入試】

「外国語」の得点換算	TOEFL iBT	IELTS	実用英語技能検定（英検）	GTEC CBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W ※	Cambridge English	TEAP	TEAP CBT
満点換算	80以上	6.5以上	準1級以上	1190以上	1560以上	FCE (160-179) 以上	309以上	600以上
20点加点	62以上	5.0以上	—	1120以上	1420以上	—	280以上	540以上
10点加点	42以上	4.0以上	2級	960以上	1150以上	PET (140-159) 以上	225以上	420以上

※「TOEIC L&R」及び「TOEIC S&W」両検定試験の受験及びスコアを必須とします。また、スコアは「TOEIC S&W」のスコアを2.5倍にして合算したものとします。

平成28年8月5日より前に実施された「TOEICテスト」のスコアは「TOEIC L&R」のスコアとして認めます。

B 1 パターン：看護学部

「外国語」 の得点換算	TOEFL iBT	IELTS	実用英語 技能検定 (英検)	GTEC CBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W ※	Cambridge English	TEAP	TEAP CBT
30 点加点	72 以上	5.5 以上	準1級 以上	1190 以上	1560 以上	FCE (160-179) 以上	309 以上	600 以上
20 点加点	62 以上	5.0	—	1120 以上	1420 以上	—	280 以上	540 以上
10 点加点	42 以上	4.0 以上	2 級	960 以上	1150 以上	PET (140-159) 以上	225 以上	420 以上

※ 「TOEIC L&R」及び「TOEIC S&W」両検定試験の受験及びスコアを必須とします。また、スコアは「TOEIC S&W」のスコアを2.5倍にして合算したものとします。

平成28年8月5日より前に実施された「TOEICテスト」のスコアは「TOEIC L&R」のスコアとして認めます。

B 2 パターン：教育学部（中学校教員養成課程英語科教育分野）、園芸学部

「外国語」 の得点換算	TOEFL iBT	IELTS	実用英語 技能検定 (英検)	GTEC CBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W ※	Cambridge English	TEAP	TEAP CBT
30 点加点	72 以上	5.5 以上	準1級 以上	1190 以上	1560 以上	FCE (160-179) 以上	309 以上	600 以上
20 点加点	62 以上	5.0	—	1120 以上	1420 以上	—	280 以上	540 以上

※ 「TOEIC L&R」及び「TOEIC S&W」両検定試験の受験及びスコアを必須とします。また、スコアは「TOEIC S&W」のスコアを2.5倍にして合算したものとします。

平成28年8月5日より前に実施された「TOEICテスト」のスコアは「TOEIC L&R」のスコアとして認めます。

C パターン：文学部（人文学科日本・ユーラシア文化コース）、理学部（物理学科）

「外国語」 の得点換算	TOEFL iBT	IELTS	実用英語 技能検定 (英検)	GTEC CBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W ※	Cambridge English	TEAP	TEAP CBT
10 点加点	72 以上	5.5 以上	準1級 以上	1190 以上	1560 以上	FCE (160-179) 以上	309 以上	600 以上
5 点加点	62 以上	5.0	—	1120 以上	1420 以上	—	280 以上	540 以上

※ 「TOEIC L&R」及び「TOEIC S&W」両検定試験の受験及びスコアを必須とします。また、スコアは「TOEIC S&W」のスコアを2.5倍にして合算したものとします。

平成28年8月5日より前に実施された「TOEICテスト」のスコアは「TOEIC L&R」のスコアとして認めます。

ウ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

(7) 前期日程

学部・学科・課程・選修・コース・分野		試験の区分及び教科・科目等		大学入試センター試験							個別学力検査等								合計			
				国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	計	国語	数学	地理歴史	理科	小論文	専門適性検査	外国語	面接		その他	計	
国際教養学部	国際教養学科【通常型入試】	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	国語(300)又は理科(300)を選択 数学(300)又は地理歴史(300)選択					300			900	1,350		
	国際教養学科【特色型入試】	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450				400			500		900	1,350		
文学部	人文学科	行動科学コース	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	200	150					200		550	1,000	
		歴史学コース	100	50	50	50	50	50	50	100	450	200		200				200		600	1,050	
		日本・ユーラシア文化コース	100	50	50	50	50	50	50	100	450	300		300				300		900	1,350	
		国際言語文化学コース	100	50	50	50	50	50	50	100	450	200		150				200		550	1,000	
法政経学部	法政経学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450	250	250					300		800	1,250		
教育学部	小学校教員養成課程	国語科, 社会科, 算数科, 理科, 家庭科, 教育学, 教育心理学, ものづくり・技術, 小学校英語の各選修	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	200						100	150		450	900
		音楽科, 図画工作科, 体育科の各選修	100	50	*50	50	50	50	50	*50	100	450						100	150	200	450	900
	中学校教員養成課程	国語科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	300				250	150			700	1,150	
		社会科教育分野	100	50	50	50	50	50	50	100	450				300	250	150			700	1,150	
		数学科教育分野	100	50	50	50	50	50	50	100	450		400			100	200			700	1,150	
		理科教育分野	100	50	50	50	50	50	50	100	450			150	150	250	150			700	1,150	
		音楽科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450					250	150		300	700	1,150	
		美術科教育分野	100	50	50	50	50	50	50	100	450					250	150		300	700	1,150	
		保健体育科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450					250	150		300	700	1,150	
		技術科教育分野	100	50	50	50	50	50	50	100	450		200			400	100			700	1,150	
	改組予定	家庭科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450				300	250	150			700	1,150	
		英語科教育分野	100	50	50	50	50	50	50	100	450				250	300		150		700	1,150	
		特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	200				250	100			550	1,000	
		養護教諭養成課程	100	50	50	50	50	50	50	100	450						200	100	250	550	1,000	
理学部	数学・情報数理学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450		600	150				150		900	1,350		
	物理学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450		300	物理 300	化学 100			200		900	1,350		
	化学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450		250	化学 300	物理 生物 地学 150			200		900	1,350		
	生物学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450		150	生物 350	物理 化学 200			200		900	1,350		
	地球科学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450		250	200	200			250		900	1,350		
工学部	総合工学科	建築学コース 機械工学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	100	50	50	50	50	50	100	450		300	物理 200	化学 100			300		900	1,350		
		都市環境システムコース デザインコース 医工学コース 物質科学コース 共生応用化学コース	100	50	50	50	50	50	50	100	450		300	150	150			300		900	1,350	
園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450		300	150	150			300		900	1,350		
	食料資源経済学科	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450		450					450		900	1,350		
医学部	医学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450		300	150	150			300	100	1,000	1,450		
薬学部	薬学科, 薬科学科(一括募集)	100	50	50	50	50	50	50	100	450		150	100				150		400	850		
看護学部	看護学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450			250	250			300	100	900	1,350		

(イ) 後期日程

試験の区分 及び教科 ・科目等  学部・ 学科・コース			大学入試センター試験								個別学力検査等							合計		
			国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外 国 語	計	数 学	理 科		外 国 語	総 合 テ ス ト	小 論 文		専 門 適 性 検 査	面 接
文学部	人文学科	行動科学コース	120	30	*30	60	60	30	*30	120	450					400			400	850
		歴史学コース	100	50	50	50	50	50		100	450					300		100	400	850
		日本・ユーラシア文化コース	100	50	50	50	50	50		100	450					400			400	850
法政経学部	法政経学科	100	50	50	50	50	50		100	450				400				400	850	
理学部	数学・情報数理学科		100	50		50	50	50	50	100	450	300							300	750
	物理学科		100	50		50	50	50	50	100	450				300				300	750
	化学科		100	50		50	50	50	50	100	450		200						200	650
	生物学科		100	50		50	50	50	50	100	450		450						450	900
	地球科学科		100	50		50	50	50	50	100	450		300						300	750
工学部	総合工学科	建築学コース 機械工学コース 情報工学コース	100	50		50	50	50	50	100	450	400	300						700	1,150
		都市環境システムコース 医工学コース 共生応用化学コース	100	50		50	50	50	50	100	450	300	200	200					700	1,150
		電気電子工学コース	100	50		50	50	50	50	100	450	300	200						500	950
		園芸学科	100	50		50	50	50	50	100	450				400				400	850
園芸学部	応用生命化学科		100	50		50	50	50	50	100	450		200	200					400	850
	緑地環境学科		100	50		50	50	50	50	100	450				400				400	850
	食料資源経済学科		100	50	*50	50	50	50	*50	100	450				400				400	850
	医学部	医学科	100	50		50	50	50	50	100	450	300	150	150	300				100	1,000
薬学部	薬科学科	100	50		50	50	50	50	100	450		150	150						300	750

【(ア)及び(イ)表中における注意事項】

- 1 大学入試センター試験における理科①の科目(「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」)については,2科目を受験しますが,2科目の合計点(100点満点)を理科1科目分の素点として扱います。  
※大学入試センター試験の制度上,理科①の科目は1科目のみ受験することはできません。
- 2 \*印は、『地理歴史・公民から1科目,理科から2科目』,又は『地理歴史・公民から2科目,理科から1科目』のいずれかで受験するパターンにおいて,2科目として受験した教科に対してのみ適用される配点です。
- 3 大学入試センター試験の外国語の英語については,筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を他の外国語と同じ200点満点に換算(筆記試験160点満点,リスニング40点満点)し,素点とします。ただし,リスニングの成績を利用しない文学部人文学科(行動科学コース)については,筆記試験(200点満点)の得点を素点とします。  
また,大学入試センター試験においてリスニングが免除された者は,筆記試験(200点満点)の得点を素点とします。
- 4 (ア)の個別学力検査科目の「その他」は,次のとおりです。  
教育学部小学校教員養成課程  
音楽科選修, 図画工作科選修, 体育科選修:実技  
教育学部中学校教員養成課程  
音楽科教育分野, 美術科教育分野, 保健体育科教育分野:実技  
英語科教育分野:ライティング(英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)  
教育学部養護教諭養成課程:保健体育(保健)

## エ 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

本学に出願を希望する者で、身体等に障害があり、受験上（及び修学上）特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：学務部入試課入試係（電話 043-290-2182）

### (7) 申請方法

申請する場合は、次の①～③（③は提出できる場合のみ）を【〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1番33号 千葉大学学務部入試課入試係】あてに提出してください。

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。検討の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

①	<b>事前相談申請書</b> （本学所定の用紙） 申請用紙は、学務部入試課の窓口で直接受け取るか、千葉大学ホームページからダウンロードして入手してください。
②	<b>医師の診断書</b> （障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの） 大学入試センター試験において受験上の配慮を申請していて、その後、症状並びに希望する措置等に変更がない場合には、大学入試センターに提出した医師の診断書の写しで構いません。
③	<b>受験上の配慮事項決定通知書</b> 大学入試センター試験において、受験上の配慮を申請して認められた場合、大学入試センターより「受験上の配慮事項決定通知書」が送付されます。千葉大学に事前相談を申請する際に、その通知書の写しを提出してください。

### (4) 事前相談の締切日

平成 31 年 1 月 11 日（金）（必着）

障害の程度が重度な場合には対応の検討に時間を要することもありますので、できるだけ早めに申請してください。

なお、上記の締切日を過ぎて申請した場合、申請自体は受理しますが、回答（措置の可否）は出願受付期間に間に合わないことがあります。

### (5) 事前相談の申請受付後の回答日

平成 31 年 1 月 25 日（金）（予定 締切日までに申請があったもの）

出願を希望する学部・学科等に変更が生じた場合には、速やかに事前相談担当までご連絡ください。

## 5. A O入試

(1)		(A O入試)
実施学部 ・学科及び 募集人員	国際教養学部 国際教養学科 5名	
出願資格等	<p>次の①～⑦のいずれかに該当し、平成31年1月実施の平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目を受験する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育（※）を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者 （※）特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成31年3月までに合格見込みの者</p>	
選抜方法等	<p>提出された書類並びに課題論述及び面接により、総合判定のうえ合格内定者を決定し、更に平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の成績（素点）の総得点が70%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <p>《大学入試センター試験の指定教科・科目等》 大学入試センター試験の指定教科・科目等については、国際教養学部 国際教養学科【通常型入試】及び【特色型入試】（本選抜要項16ページ）と同様とします。</p>	
出願期間	平成30年 9月18日（火）～ 9月21日（金） 17時必着	
選抜期日	平成30年10月27日（土）～ 10月28日（日）	
合格者発表	平成31年 2月13日（水） [合格内定者の発表：平成30年11月22日（木）]	
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出願時に「学びの履歴書」（今まで行ってきた「学び」の活動に関する報告）を提出してもらいます。詳細は、平成31年度国際教養学部A O入試学生募集要項を確認してください。</li> <li>・ 課題論述は、文理混合による課題解決に向けた資質と適性を評価するため、資料の理解力、論理構成力、科学・統計リテラシーを問う課題を課します。なお、資料の一部に英文資料を含みます。（英和辞典のみ持ち込み可とします。P C・スマートフォン等の電子機器の使用はできません。）</li> </ul>	

実施学部 ・学科及び 募集人員	法政経学部 法政経学科 経済学コース 5名 ※本選抜の合格者は入学後、経済学コース内の「経済学特進プログラム」を履修します。																															
出願資格等	<p>次の (1) から (3) の要件をすべて満たす者</p> <p>(1) 高等学校 (中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。) を平成31年 (2019年) 3月卒業見込みの者 (学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、及び外国において学校教育を受け、引き続き日本の高等学校に編入学した者で平成31年 (2019年) 3月卒業見込みのものを含む。)</p> <p>(2) 平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目 (選抜方法等を参照) を受験する者</p> <p>(3) 平成28年1月1日以降に受験した次の外国語検定試験において、以下のうちいずれかの条件を満たしている者</p> <table border="1" data-bbox="405 539 1102 752"> <tr><td>①TOEFL iBT</td><td>55 点以上</td></tr> <tr><td>②IELTS</td><td>4.5 以上</td></tr> <tr><td>③GTEC 3 技能</td><td>650 点以上</td></tr> <tr><td>④GTEC 4 技能</td><td>1070 点以上</td></tr> <tr><td>⑤GTEC CBT</td><td>950 点以上</td></tr> <tr><td>⑥実用英語技能検定</td><td>2 級以上</td></tr> </table> <p>※GTEC for STUDENTS はGTEC 3技能と同様に取扱います。</p> <p>なお、上述 (3) の外国語検定試験の合格証書等は、出願書類と同時に提出する必要があります。</p>	①TOEFL iBT	55 点以上	②IELTS	4.5 以上	③GTEC 3 技能	650 点以上	④GTEC 4 技能	1070 点以上	⑤GTEC CBT	950 点以上	⑥実用英語技能検定	2 級以上																			
①TOEFL iBT	55 点以上																															
②IELTS	4.5 以上																															
③GTEC 3 技能	650 点以上																															
④GTEC 4 技能	1070 点以上																															
⑤GTEC CBT	950 点以上																															
⑥実用英語技能検定	2 級以上																															
選抜方法等	<p>(1) 提出された書類 (志望理由書等) 及び面接により、総合判定のうえ合格内定者を決定します。</p> <p>(2) 合格内定者のうち、以下のアまたはイに該当する者を、最終合格者として決定します。</p> <p>ア 平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の総得点 (配点合計) が80%に達した者</p> <p>イ 平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の総得点 (配点合計) が75%に達し、かつ外国語検定試験の結果が以下のスコアに該当する者</p> <table border="1" data-bbox="405 1066 1102 1279"> <tr><td>①TOEFL iBT</td><td>61 点以上</td></tr> <tr><td>②IELTS</td><td>5.5 以上</td></tr> <tr><td>③GTEC 3 技能</td><td>680 点以上</td></tr> <tr><td>④GTEC 4 技能</td><td>1110 点以上</td></tr> <tr><td>⑤GTEC CBT</td><td>1010 点以上</td></tr> <tr><td>⑥実用英語技能検定</td><td>準1 級以上</td></tr> </table> <p>※GTEC for STUDENTS はGTEC 3技能と同様に取扱います。</p> <table border="1" data-bbox="392 1357 1382 1536"> <thead> <tr><th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th></tr> <tr><th colspan="2">指定教科・科目</th><th>指定科目数</th><th>配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">数学</td><td>数学Ⅰ・数学A</td><td>1 科目</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>数学Ⅱ・数学B</td><td>1 科目</td><td>100 点</td></tr> <tr><td colspan="2">合 計</td><td>2 科目</td><td>200 点</td></tr> </tbody> </table>	①TOEFL iBT	61 点以上	②IELTS	5.5 以上	③GTEC 3 技能	680 点以上	④GTEC 4 技能	1110 点以上	⑤GTEC CBT	1010 点以上	⑥実用英語技能検定	準1 級以上	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数	配点	数学	数学Ⅰ・数学A	1 科目	100 点	数学Ⅱ・数学B	1 科目	100 点	合 計		2 科目	200 点
①TOEFL iBT	61 点以上																															
②IELTS	5.5 以上																															
③GTEC 3 技能	680 点以上																															
④GTEC 4 技能	1110 点以上																															
⑤GTEC CBT	1010 点以上																															
⑥実用英語技能検定	準1 級以上																															
大学入試センター試験の指定教科・科目																																
指定教科・科目		指定科目数	配点																													
数学	数学Ⅰ・数学A	1 科目	100 点																													
	数学Ⅱ・数学B	1 科目	100 点																													
合 計		2 科目	200 点																													
出願期間	平成30年10月29日 (月) ~ 10月31日 (水)																															
選抜期日	平成30年11月25日 (日)																															
合格者発表	平成31年 2月13日 (水) (合格内定者の発表:平成30年12月19日 (水))																															
そ の 他	<p>出願時に面接資料として、グローバルな経済社会に関する関心事と将来のキャリアプランを記載した「志望理由書」の提出を求めます。</p> <p>合格者は、1年次から経済学コースに配属され、経済学特進プログラムを履修します。経済学特進プログラムとは、国際化の流れのなかでグローバル経済をリードしうる人材を養成するため、1年次から経済学を専門的に学ぶことができるように経済学コースに設置されるものです。このプログラムを履修し、優秀な成績を修めれば3年間で早期卒業することができます。さらに大学院で専門的な教育を受ければ、将来、国際機関・官公庁の経済専門職、大学教員やシンクタンク・エコノミストなどの研究者として活躍することも可能となります。</p>																															

<p>実施学部・課程・選修及び募集人員</p>	<p>教育学部 小学校教員養成課程 50名 (地域選抜枠 30名を含む)                  ※ 各選修の募集人員は、おおむね次のとおりです。                  国語科選修 6名, 社会科選修 6名, 算数科選修 6名, 理科選修 6名, 音楽科選修 2名, 図画工作科選修 2名, 体育科選修 3名, 家庭科選修 2名, 教育学選修 6名, 教育心理学選修 6名, ものづくり・技術選修 3名, 小学校英語選修 2名</p>																									
<p>出願資格等</p>	<p>次の①～⑥のいずれか (地域選抜枠については千葉県内の高等学校 (中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。)) を平成 31 年 3 月卒業見込みの者 (高等専門学校第 3 年次修了見込みの者を含む。)) に該当し、かつ、平成 31 年 1 月実施の平成 31 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目 (選抜方法等を参照) を受験する者</p> <p>① 高等学校 (中等教育学校を含む。)) を卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者                  ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 31 年 3 月修了見込みの者※                  ※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次を修了した (見込みの) 者が該当します。                  ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの                  ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者                  ⑤ 文部科学大臣の指定した者                  ⑥ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 (旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)) 及び平成 31 年 3 月までに合格見込みの者</p>																									
<p>出願要件</p>	<p>小学校教員になろうとする強い意欲を有し、合格した場合に入学を確約できる人。地域選抜枠で募集する学生は、卒業後千葉県の小学校教員として地域に社会貢献しようとする強い意志を有する人。</p>																									
<p>選抜方法等</p>	<p>提出された書類並びに専門適性検査 (※) 及び面接 (志望する選修によっては基礎的な実技を実施します。)) により、総合判定のうえ合格内定者を決定し、更に平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の成績 (素点。なお、国語及び外国語は各100点満点に換算します。)) の総得点が60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <p>(※) 専門適性検査について                  小学校教員にふさわしい資質と適性を評価するため、理解力や表現力等をはかる課題を課します。</p> <table border="1" data-bbox="268 1115 1385 1525"> <thead> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th colspan="2">指定科目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>1科目</td> <td rowspan="5">左記から計3科目</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学I, 数学I・数学A, 数学II, 数学II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理科</td> <td>物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は2科目で1科目として扱う)</td> <td rowspan="2">1科目</td> </tr> <tr> <td>物理, 化学, 生物, 地学</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td>1科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>指定する教科・科目数を超えて受験している場合は、指定教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。また、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業 (見込) 者に限ります。</p>	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数		国語	国語	1科目	左記から計3科目	地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1科目	数学	数学I, 数学I・数学A, 数学II, 数学II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎	1科目	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は2科目で1科目として扱う)	1科目	物理, 化学, 生物, 地学	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1科目
大学入試センター試験の指定教科・科目																										
指定教科・科目		指定科目数																								
国語	国語	1科目	左記から計3科目																							
地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1科目																								
数学	数学I, 数学I・数学A, 数学II, 数学II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎	1科目																								
理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は2科目で1科目として扱う)	1科目																								
	物理, 化学, 生物, 地学																									
外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1科目																								
<p>出願期間</p>	<p>平成 30 年 9 月 25 日 (火) ～ 9 月 27 日 (木) 17 時必着</p>																									
<p>選抜期日</p>	<p>平成 30 年 10 月 13 日 (土)</p>																									
<p>合格者発表</p>	<p>平成 31 年 2 月 13 日 (水) [合格内定者の発表: 平成 30 年 10 月 25 日 (木)]</p>																									
<p>その他</p>	<p>AO入試学生募集要項 (願書) は教育学部学務室入試係の窓口で配付します。郵送を希望する場合は、「AO入試学生募集要項請求」と朱書した封筒に、205 円分の郵便切手を貼った返信用封筒 (角形 2 号: 約 33×24cm, 表面に郵便番号, 住所, 氏名を明記すること) を同封し、下記あてに送付してください。</p> <p>募集要項請求・問合せ先: 千葉大学教育学部学務室入試係                  〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 番 33 号 電話 043-290-2515</p>																									

◆教育学部は平成 31 年 4 月に学部改組を計画しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更があります。(改組の詳細については、2～6 ページを参照してください。)

実施学部 ・学科等及び 募集人員	工学部 総合工学科（デザインコース）20名																													
出願資格等	<p>次の①～⑦のいずれかに該当し、平成31年1月実施の平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者 ※特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した（見込みの）者が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成31年3月までに合格見込みの者</p>																													
選抜方法等	<p>① 提出された書類（調査書、論述課題）及び選抜期日第1日目に行われる専門適性をみる課題により、第1次選抜合格者を決定します。</p> <p>② 第1次選抜合格者に対して、選抜期日第2日目に面接を行い、総合判定のうえ第2次選抜合格者（合格内定者）を決定し、更に平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の成績の総合点が75%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1" data-bbox="363 927 1254 1267"> <thead> <tr> <th colspan="5">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th>指定科目数</th> <th colspan="2">配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td rowspan="4">左記より 1科目</td> <td rowspan="4">200</td> <td rowspan="6">合計 600</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>世界史B、日本史B、地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「倫理、政治・経済」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理、化学、生物、地学</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B</td> <td>2科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語（筆記＋リスニング）</td> <td>1科目</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、地理歴史・公民及び理科（配点100点）は200点満点、英語は筆記（配点200点）とリスニング（配点50点）の合計を200点満点に換算します。</p> <p>また、国語、地理歴史、公民及び理科は、出願時に予め受験する科目を1科目指定してください。</p>	大学入試センター試験の指定教科・科目					指定教科・科目		指定科目数	配点		国語	国語	左記より 1科目	200	合計 600	地理歴史	世界史B、日本史B、地理B	公民	「倫理、政治・経済」	理科	物理、化学、生物、地学	数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	2科目	200	外国語	英語（筆記＋リスニング）	1科目	200
大学入試センター試験の指定教科・科目																														
指定教科・科目		指定科目数	配点																											
国語	国語	左記より 1科目	200	合計 600																										
地理歴史	世界史B、日本史B、地理B																													
公民	「倫理、政治・経済」																													
理科	物理、化学、生物、地学																													
数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	2科目	200																											
外国語	英語（筆記＋リスニング）	1科目	200																											
出願期間	平成30年10月2日（火）～10月9日（火）																													
選抜期日	<p>第1次選抜：平成30年10月27日（土）</p> <p>第2次選抜：平成30年10月28日（日）</p>																													
合格者発表	<p>平成31年2月13日（水）</p> <p>〔第1次選抜合格者の発表：平成30年10月28日（日）の午前〕</p> <p>〔第2次選抜合格者（合格内定者）の発表：平成30年11月16日（金）〕</p>																													
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願時の提出書類の論述課題に関しては、予め与えられたテーマに沿って作成し提出してもらいます。</li> <li>専門適性をみる課題、及び面接では、デザインコースで学ぶための資質と適性を評価します。</li> <li>デザインコースをAO入試と個別学力検査（前期日程）両方の受験を予定している場合、それぞれの選抜で、大学入試センター試験の指定教科・科目が異なるので注意してください。</li> </ul> <p><b>〔千葉大学で公表する入学者選抜要項や各種学生募集要項などを確認のうえ、大学入試センター試験の受験教科・科目を選択し出願してください。〕</b></p>																													

実施学部・学科等及び募集人員	工学部 総合工学科 (物質科学コース) *10名 *募集人員 10名は後述の 方式II との合計																														
出願資格等	<p>次の①～③の全ての要件を満たす者</p> <p>① 高等学校 (中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ) を平成 30 年 3 月に卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者 (学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 30 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者)</p> <p>② 次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 理科に関する実験・調査活動・クラブ活動などを通して優れた自由研究を行った者 イ 日本学生科学賞 (読売新聞社) , JSEC (朝日新聞社) など, 審査制度のある自然科学並びに工学系のコンテストやコンクール等で優れた成果を発表した者</p> <p>③ 平成 31 年 1 月実施の平成 31 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目 (選抜方法等を参照) を受験する者</p>																														
選抜方法等	<p>① 出願時に提出された書類 (調査書, 志望理由書, 研究成果報告書等) により, 第 1 次選抜合格者を決定します。</p> <p>② 第 1 次選抜合格者に対し, 研究成果の発表等の面接により, 第 2 次選抜合格者を決定します。</p> <p>③ 第 2 次選抜合格者のうち, 平成 31 年度大学入試センター試験で下記の指定教科・科目を受験し, 指定教科・科目の総得点 (配点合計) が 70%に達した者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1" data-bbox="363 757 1273 1120"> <thead> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th>指定科目数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数 学</td> <td>数学 I ・ 数学 A</td> <td>1 科目</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>数学 II ・ 数学 B</td> <td>1 科目</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理 科</td> <td>物理</td> <td>1 科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>1 科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語 (筆記+リスニング) , ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td>1 科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計 800</td> </tr> </tbody> </table>	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数	配点	数 学	数学 I ・ 数学 A	1 科目	100	数学 II ・ 数学 B	1 科目	100	理 科	物理	1 科目	200	化学	1 科目	200	外国語	英語 (筆記+リスニング) , ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目	200				合計 800
大学入試センター試験の指定教科・科目																															
指定教科・科目		指定科目数	配点																												
数 学	数学 I ・ 数学 A	1 科目	100																												
	数学 II ・ 数学 B	1 科目	100																												
理 科	物理	1 科目	200																												
	化学	1 科目	200																												
外国語	英語 (筆記+リスニング) , ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目	200																												
			合計 800																												
出願期間	平成 30 年 10 月 2 日 (火) ~ 10 月 9 日 (火)																														
選 抜 期 日	第 1 次選抜: 書類選考 [平成 30 年 10 月 10 日 (水) ~ 10 月 12 日 (金)] 第 2 次選抜: 平成 30 年 10 月 27 日 (土)																														
合格者発表	平成 31 年 2 月 13 日 (水) [第 1 次選抜合格者の発表: 平成 30 年 10 月 16 日 (火)] [第 2 次選抜合格者の発表: 平成 30 年 11 月 16 日 (金)]																														
そ の 他	研究成果の発表方式: 一人当たり 20~30 分の面接時間で, 前半 10 分で研究成果の発表を, 後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが, 出願時に発表方式の申告が必要となります。詳細は募集要項で公表します。																														

実施学部・学科等及び募集人員	工学部 総合工学科 (物質科学コース) *10名 *募集人員 10名は前述の方式Iとの合計
出願資格等	次の①～②の全ての要件を満たす者 ① 高等学校 (中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ) を平成30年3月に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者 (学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者) ② 高校生を対象とした個人研究で、著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者 (注) “著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者” に関する具体例としては下記のような賞があります。 国際学生科学技術フェア (Intel ISEF) の日本代表を決める際の選出対象となる下記の賞 1) 日本学生科学賞 入賞者 (内閣総理大臣賞, 文部科学大臣賞, 環境大臣賞, 科学技術政策担当大臣賞, 全日本科学教育振興委員会賞, 読売新聞社賞, 科学技術振興機構賞, 日本科学未来館賞, 旭化成賞, 読売理工学院賞, 優秀賞) など 2) 高校生科学技術チャレンジ グランドアワード3賞 (文部科学大臣賞, 科学技術政策担当大臣賞, 科学技術振興機構賞), 特別協賛社賞 (富士通賞), 協賛社賞 (花王賞, JFE スチール賞), 主催者賞 (朝日新聞社賞), 特別奨励賞, 審査委員奨励賞など
選抜方法等	出願時に提出された書類 (調査書, 志望理由書, 研究成果報告書等) 並びに研究発表, 面接及び口頭試問により, 総合判定のうえ合格者を決定します。
出願期間	平成30年10月2日 (火) ~ 10月9日 (火)
選抜期日	平成30年10月27日 (土)
合格者発表	平成30年11月16日 (金)
その他	研究成果の発表方式: 一人当たり20~30分の面接時間で, 前半10分で研究成果の発表を, 後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが, 出願時に発表方式の申告が必要となります。詳細は募集要項で公表します。

実施学部 ・学科及び 募集人員	園芸学部 園芸学科 2名, 応用生命化学科 4名, 緑地環境学科 9名																													
出願資格等	<p>次の(1)～(2)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1) 次の①～⑥のいずれかに該当し, かつ, 平成31年1月実施の平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目(選抜方法等を参照)を受験する者</p> <p>① 高等学校(中等教育学校を含む。)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者 ※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した(見込みの)者が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者, 又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑥ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成31年3月までに合格見込みの者</p> <p>(2) 次世代スキップアッププログラム等, 千葉大学が主催するセミナー等を修了した者, 又は, 高等学校在学中(あるいはそれに相当する課程の期間中)に, 科学技術・園芸技術に係わる研究発表会・コンテスト・セミナー・社会活動において出願者個人が評価を得た者(出願者個人の実績および貢献度を証明できる書類または資料の提出が必要です。更に, 入学志願者調書の所定欄にも活動実績を記入してください。)</p>																													
選抜方法等	<p>提出された書類(志願票, 調査書, 自己推薦書, 志望理由書等)により, 第1次判定を行います。第1次判定合格者に対して面接を行い, 総合判定のうえ合格者(合格内定者)を決定し, 更に, 平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の成績(素点)の総得点が70%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1" data-bbox="320 1066 1444 1406"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> <th rowspan="2">指定科目数</th> <th rowspan="2">配点</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td></td> <td>1科目</td> <td rowspan="5">計5教科 7科目 900点満点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」</td> <td></td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学I・数学A, 数学II・数学B</td> <td></td> <td>2科目</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理, 化学, 生物, 地学</td> <td></td> <td>2科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td></td> <td>1科目</td> </tr> </tbody> </table>	大学入試センター試験の指定教科・科目			指定科目数	配点	指定教科・科目			国語	国語		1科目	計5教科 7科目 900点満点	地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		1科目	数学	数学I・数学A, 数学II・数学B		2科目	理科	物理, 化学, 生物, 地学		2科目	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		1科目
大学入試センター試験の指定教科・科目			指定科目数	配点																										
指定教科・科目																														
国語	国語		1科目	計5教科 7科目 900点満点																										
地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」		1科目																											
数学	数学I・数学A, 数学II・数学B		2科目																											
理科	物理, 化学, 生物, 地学		2科目																											
外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		1科目																											
出願期間	平成30年10月9日(火)～10月11日(木)17時必着																													
選抜期日	第1次選抜: 書類選考[平成30年10月12日(金)～10月17日(水)] 第2次選抜: 11月11日(日)																													
合格者発表	平成31年2月13日(水) 〔第1次選抜合格者の発表: 平成30年10月26日(金)〕 〔第2次選抜合格者の発表: 平成30年11月30日(金)〕																													
その他	なし																													

## 6. 推薦入試

(1)

(推薦入試)

実施学部・学科・コース及び募集人員		文学部 人文学科（行動科学コース 9 名，歴史学コース 5 名，国際言語文化学コース 10 名）
出 願 資 格 等	行動科学コース 歴史学コース	高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成 31 年 3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 30 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）で，調査書の学習成績概評が A 段階にあり，かつ出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦するもの
	国際言語文化学 コース	次の①～④のすべての要件を満たす者 ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成 31 年 3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 30 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。） ② 調査書の学習成績概評が A 段階にある者 ③ 外国語（第 1 外国語，第 2 外国語と開設している学校においては，第 1 外国語）の評定平均値が 4.5 以上の者 ④ 出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦する者
選 抜 方 法 等		提出された書類（調査書，推薦書）並びに小論文及び面接により，総合判定のうえ合格者を決定します。 （大学入試センター試験は免除します。）
出 願 期 間		平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 11 月 5 日（月）17 時必着
選 抜 期 日		平成 30 年 11 月 17 日（土）～ 11 月 18 日（日）
合 格 者 発 表		平成 30 年 12 月 14 日（金）
そ の 他		な し

実施学部・課程・分野及び募集人員		教育学部 中学校教員養成課程各分野 2名, 特別支援教育教員養成課程 5名, 幼稚園教員養成課程 5名, 養護教諭養成課程 10名
出 願 資 格 等	中学校教員養成課程 技術科教育分野	次のいずれかに該当する者で, 出身高等学校長が責任を持って推薦するもの ① 高等学校の工業, 農業に関する学科及び総合学科(工業, 農業に関する教科・科目を15単位以上修得した者又は修得見込みの者)を平成31年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。) ② 高等専門学校第3年次を平成31年3月修了見込みの者
	国語科教育分野 社会科教育分野 数学科教育分野 理科教育分野 音楽科教育分野 美術科教育分野 保健体育科教育分野 家庭科教育分野 英語科教育分野	次のいずれかに該当する者で, 出身高等学校長(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の長を含む。)が責任を持って推薦し, 平成31年1月実施の平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定された教科・科目(選抜方法を参照)を受験するもの ① 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成31年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。) ② 通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年3月までに修了見込みの者
	特別支援教育教員養成課程	
	幼稚園教員養成課程 養護教諭養成課程	
選 抜 方 法 等	中学校教員養成課程 技術科教育分野	提出された書類(調査書等, 推薦書, 志望理由書, 活動履歴書)並びに適性検査及び面接により, 総合判定のうえ合格者を決定します。 (大学入試センター試験は免除します。)
	国語科教育分野 社会科教育分野 数学科教育分野 理科教育分野 保健体育科教育分野 家庭科教育分野 英語科教育分野	提出された書類(調査書等, 推薦書, 志望理由書, 活動履歴書)及び面接(面接資料作成含む。)により, 総合判定のうえ合格内定者を決定し, 更に, 平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目(AO入試と同じ。36ページ参照。)のうち, 高得点の3教科3科目の総合点が60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。
	特別支援教育教員養成課程	
	幼稚園教員養成課程	
	中学校教員養成課程 音楽科教育分野	提出された書類(調査書等, 推薦書, 志望理由書, 活動履歴書)並びに適性検査及び面接により, 総合判定のうえ合格内定者を決定し, 更に, 平成31年度大学入試センター試験で指定する教科・科目(AO入試と同じ。36ページ参照。)のうち, 高得点の3教科3科目の総合点が60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。
	中学校教員養成課程 美術科教育分野 養護教諭養成課程	
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)～11月5日(月) 17時必着	
選 抜 期 日	平成30年11月17日(土)	
合 格 者 発 表	中学校教員養成課程 技術科教育分野 平成30年11月30日(金)	
	上記以外の課程・分野 合格内定者 : 平成30年11月30日(金) 最終合格者 : 平成31年2月13日(水)	
そ の 他	なし	

◆教育学部は平成31年4月に学部改組を計画しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり, 変更があります。(改組の詳細については, 2～6ページを参照してください。)

(3) (推薦入試)

実施学部・学科及び募集人員	理学部 物理学科 4名, 地球科学科 4名
出願資格等	次の①及び②の要件を満たす者で, 出身高等学校長(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。)が責任をもって推薦するもの ① 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成31年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者, 高等専門学校第3年次修了見込みの者を含む。) ② 物理学科: 調査書における数学の評定平均値と理科の物理科目の評定の平均値がいずれも4.5以上で, 物理学の学習に意欲を持っている者 地球科学科: 調査書における数学, 理科の科目, そして英語の評定の平均値がいずれも4.0以上で, 地球科学に関する様々な現象に強い興味を持ち, 勉学に取り組む意欲を持っている者
選抜方法等	提出された書類(調査書, 推薦書, 志望理由書)及び総合テストにより, 第1次判定を行います。 第1次判定合格者に対して面接を行い, 総合判定のうえ合格者を決定します。 (大学入試センター試験は免除します。)
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月2日(金)17時必着
選抜期日	平成30年11月10日(土)
合格者発表	平成30年11月30日(金)
その他	① 物理学科総合テストは, 物理(物理基礎・物理)に関する事柄を中心に, それに関連した数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B)を含めて出題し, 思考力, 理解力, 表現力, 論理性等を総合的に評価します。 ② 地球科学科総合テストは, 地学(地学基礎・地学)に関する事柄を出題し, 自然科学への関心の深さ, 論理的思考力, 文章表現力等を総合的に評価します。

(4) (推薦入試)

実施学部・学科及び募集人員	薬学部 薬学科 10名																										
出願資格等	次の①～④のすべての要件を満たす者 ① 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成31年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。) ② 調査書の学習成績概評がA段階の者 ③ 大学院博士課程進学を希望する研究マインドを持ち, 出身学校長(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。)が責任をもって推薦できる者 ④ 平成31年1月実施の平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目(選抜方法等を参照)を受験する者 * 推薦は, 1高等学校につき最大3名までとします。																										
選抜方法等	提出された書類(調査書, 推薦書及び志望理由書)並びに総合テスト, 面接及び平成31年度大学入試センター試験の成績を総合判定のうえ合格者を決定します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th colspan="2">指定科目数</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>1科目</td> <td rowspan="6">計7科目</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数学</td> <td>数学Ⅰ・数学A</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ・数学B</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理, 化学, 生物</td> <td>2科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td>1科目</td> </tr> </table>	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数		国語	国語	1科目	計7科目	地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	1科目	数学	数学Ⅰ・数学A	1科目	数学Ⅱ・数学B	1科目	理科	物理, 化学, 生物	2科目	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1科目
大学入試センター試験の指定教科・科目																											
指定教科・科目		指定科目数																									
国語	国語	1科目	計7科目																								
地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」	1科目																									
数学	数学Ⅰ・数学A	1科目																									
	数学Ⅱ・数学B	1科目																									
理科	物理, 化学, 生物	2科目																									
外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1科目																									
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月5日(月) 17時必着																										
選抜期日	平成30年11月17日(土)～11月18日(日)																										
合格者発表	平成31年2月13日(水)																										
その他	総合テストは化学に関する事柄を中心に英語を含めて出題し, 思考力, 理解力, 表現力, 論理性等を総合的に評価します。																										

(注) 地理歴史及び公民において, 2科目受験している場合は, 第1解答科目の成績を利用します。

実施学部・学科及び募集人員	看護学部 看護学科 24名
出願資格等	<p>次の①～⑤のすべての要件を満たす者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）</p> <p>② 調査書の学習成績概評がA段階の者</p> <p>③ 入学後看護学の修得に意欲的に取り組み、将来看護の実践・研究・教育に貢献できる者</p> <p>④ 出身高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦する者</p> <p>⑤ 以下に示す教科・科目の単位を修得した者（履修中の者を含む。）</p> <p>数学（数学A，数学B，数学Ⅱ）</p> <p>理科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1）</p> <p>外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ，ドイツ語，フランス語から1）</p>
選抜方法等	提出された書類（調査書，推薦書）並びに小論文及び面接により，総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成30年11月1日（木）～11月5日（月） 17時必着
選抜期日	平成30年11月17日（土）
合格者発表	平成30年11月30日（金）
その他	なし

## 7. 園芸産業創発学プログラム選抜

(1)

(園芸産業創発学プログラム選抜)

実施学部・学科及び募集人員	園芸学部 園芸学科 6名, 食料資源経済学科 4名																						
出願資格等	<p>次の①～③の要件をすべて満たす者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む）および平成28年4月以降に卒業した者</p> <p>② 次の外国語検定試験のいずれかの条件を満たしている者</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 実用英語技能検定</td> <td>2級以上</td> </tr> <tr> <td>(2) GTEC 3技能</td> <td>650点以上</td> </tr> <tr> <td>(3) GTEC 4技能</td> <td>1070点以上</td> </tr> <tr> <td>(4) TOEFL iBT</td> <td>52点以上</td> </tr> <tr> <td>(5) TOEIC L&amp;R</td> <td>500点以上</td> </tr> </table> <p>※GTEC for STUDENTS は GTEC 3技能と同様に取扱います。 上記のスコアを証明する書類は、出願書類と同時に提出する必要があります。</p> <p>③ 平成31年1月実施の平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目（選抜方法を参照）を受験する者</p>	(1) 実用英語技能検定	2級以上	(2) GTEC 3技能	650点以上	(3) GTEC 4技能	1070点以上	(4) TOEFL iBT	52点以上	(5) TOEIC L&R	500点以上												
(1) 実用英語技能検定	2級以上																						
(2) GTEC 3技能	650点以上																						
(3) GTEC 4技能	1070点以上																						
(4) TOEFL iBT	52点以上																						
(5) TOEIC L&R	500点以上																						
選抜方法等	<p>提出された書類の審査、模擬実習（または模擬実験）への参加、模擬講義の受講、模擬講義に関するレポート作成並びにプレゼンテーション及び面接により、総合判定のうえ合格内定者を決定します。更に、平成31年度大学入試センター試験で指定する以下の教科・科目の総得点が70%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th>指定科目数</th> <th colspan="2">配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理科</td> <td>物理, 化学, 生物, 地学</td> <td>1科目</td> <td>100点</td> <td rowspan="3">計3科目 200点満点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数学</td> <td>数学Ⅰ・数学A</td> <td>1科目</td> <td>50点</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ・数学B</td> <td>1科目</td> <td>50点</td> </tr> </tbody> </table>	大学入試センター試験の指定教科・科目					指定教科・科目		指定科目数	配点		理科	物理, 化学, 生物, 地学	1科目	100点	計3科目 200点満点	数学	数学Ⅰ・数学A	1科目	50点	数学Ⅱ・数学B	1科目	50点
大学入試センター試験の指定教科・科目																							
指定教科・科目		指定科目数	配点																				
理科	物理, 化学, 生物, 地学	1科目	100点	計3科目 200点満点																			
数学	数学Ⅰ・数学A	1科目	50点																				
	数学Ⅱ・数学B	1科目	50点																				
出願期間	平成30年10月29日（月）～10月31日（水）																						
選抜期日	平成30年11月10日（土）～11日（日）																						
合格者発表	合格内定者：平成30年11月30日（金） 最終合格者：平成31年2月13日（水）																						
その他	<p>出願時に、面接資料として、次世代園芸産業に関連する関心事と将来のキャリアプラン等を記載した「志望理由書」（書式は募集要項に示したものとする）、調査書および推薦書の提出を求めます。</p> <p>合格者は、それぞれの学科に属し、学科のカリキュラムを履修すると同時に、1年次から園芸産業創発学プログラム専門科目を履修します。</p> <p>本プログラムでは、高度な技術と優れた国際感覚、経営感覚を備えた次世代園芸産業に関わるエキスパートの養成を目指して学部・修士一貫教育を行います。また、実業界と連携した実践演習・総合演習を積極的に実施します。</p>																						

## 8. 帰国子女入試

(1) 薬学部 4 月入学

(帰国子女入試)

実施学部及び募集人員	薬学部 薬学科, 薬科学科 (一括募集) 若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め 2 学年以上継続して学校教育を受けている者で、次のいずれかに該当するもの。ただし、保護者の海外勤務に随伴して渡航した者に限ります。</p> <p>① 外国において学校教育における 12 年の課程 (日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。) を平成 29 年 (2017 年) 4 月から平成 31 年 (2019 年) 3 月までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (学校教育法施行規則第 150 条第 1 号)</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を、平成 29 年 (2017 年) 又は平成 30 年 (2018 年) に授与された者で 18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 3 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で 18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 3 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で 18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 3 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 3 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>〔注 1〕上記④の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。 (昭和 56 年文部省告示第 153 号第 1 号・第 3 号)</p> <p>(ア) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定 (国の検定に準ずるものを含む。) に平成 29 年 (2017 年) 又は平成 30 年 (2018 年) に合格した者で、18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 3 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>(イ) 外国において、高等学校に対応する学校の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを平成 29 年 (2017 年) 4 月から平成 31 年 (2019 年) 3 月までの間に修了した者及び修了する見込みの者</p> <p>〔注 2〕外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。</p>
選抜方法等	提出された書類 (推薦書, 志望理由書及び成績証明書等) 並びに総合テスト及び面接により、総合判定のうえ合格者を決定します。 (大学入試センター試験は免除します。)
出願期間	平成 30 年 (2018 年) 11 月 1 日 (木) ~ 11 月 5 日 (月) 17 時必着
選抜期日	平成 30 年 (2018 年) 11 月 17 日 (土) ~ 11 月 18 日 (日)
合格者発表	平成 30 年 (2018 年) 12 月 7 日 (金)
その他	総合テストは化学に関する事柄を中心に英語を含めて出題し、思考力, 理解力, 表現力, 論理性等を総合的に評価します。

実施学部・学科及び募集人員	薬学部 薬科学科 若干名
出 願 資 格 等	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め 2 学年以上継続して学校教育を受けている者で、下記の (1) 及び (2) の要件を満たすもの。ただし、保護者の海外勤務に随伴して渡航した者に限ります。</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における 12 年の課程 (日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。) を平成 29 年 (2017 年) 9 月から平成 31 年 (2019 年) 8 月までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (学校教育法施行規則第 150 条第 1 号)</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を、平成 29 年 (2017 年) 9 月以降に授与された者で 18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で 18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で 18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>[注 1] 上記①の「これらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。 (昭和 56 年文部省告示第 153 号第 1 号・第 3 号)</p> <p>(ア) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定 (国の検定に準ずるものを含む。) に平成 29 年 (2017 年) 9 月以降に合格した者で、18 歳に達したものと及び平成 31 年 (2019 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>(イ) 外国において、高等学校に対応する学校の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを平成 29 年 (2017 年) 9 月から平成 31 年 (2019 年) 8 月までの間に修了した者及び修了する見込みの者</p> <p>[注 2] 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。</p> <p>(2) 平成 29 年 (2017 年) 11 月以降に実施された TOEFL (Test of English as a Foreign Language) 又は TOEIC (Test of English for International Communication) L&amp;R を受験し、所定の点数 (TOEFL-PBT 550 点以上, TOEFL-iBT 79 点以上, TOEIC L&amp;R 730 点以上のいずれか) を取得した者</p>
選 抜 方 法 等	<p>提出された書類 (推薦書, 志望理由書及び成績証明書等) 並びに外国語 (英語), 理科 (化学基礎・化学, 生物基礎・生物) 及び面接により, 総合判定のうえ合格者を決定します。 (大学入試センター試験は免除します。)</p>
出 願 期 間	平成 31 年 (2019 年) 6 月 3 日 (月) ~ 6 月 13 日 (木) 17 時必着
選 抜 期 日	平成 31 年 (2019 年) 6 月 29 日 (土)
合 格 者 発 表	平成 31 年 (2019 年) 7 月 26 日 (金)
そ の 他	<p>入学時期: 平成 31 年 (2019 年) 9 月 1 日 9 月には集中講義及び補習講義等を行います。</p> <p>早期卒業: 学業成績が優秀であり, かつ大学院修士課程に入学を希望する学生には 3 年半で卒業できる制度があります。</p>

## 9. 社会人入試

(1) (社会人入試)

実施学部・学科・コース及び募集人員	文学部 人文学科（歴史学コース） 若干名
出願資格等	入学年の4月1日現在、24歳以上の者で、高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業したもの及び卒業見込みのもの、又は高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格したもの（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
選抜方法等	提出された書類（調査書等）並びに小論文及び面接により、総合判定のうえ、合格者を決定します。 （大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成30年10月1日（月）～10月3日（水） 17時必着
選抜期日	平成30年11月17日（土）
合格者発表	平成30年12月14日（金）
その他	本入学者選抜は、歴史学コースでの勉学を希望する者に限ったものであるため、入学後、文学部人文学科他コースへの変更（転コース）はできません。

(2) (社会人入試)

実施学部・学科及び募集人員	看護学部 看護学科 7名
出願資格等	次の①～③のすべての要件を満たす者 ① 大学入学資格を有し、平成31年4月1日現在において満25歳以上の者 ② 出願時に社会人としての職業経験を4年以上有する者 ③ 入学後は看護学を修める意志があり、卒業後は看護の分野に就業する意志のある者
選抜方法等	提出された書類（出願調書等）並びに小論文、英語、面接により総合判定のうえ合格者を決定します。英語については、平成28年8月以降に受験したTOEIC L&R, TOEFL-iBT, GTEC-CBT, IELTSのスコア又は実用英語技能検定の級のうち、提出された1つを用います。 （大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成30年8月1日（水）～8月6日（月） 17時必着
選抜期日	平成30年9月20日（木）
合格者発表	平成30年10月5日（金）
その他	社会人としての職業経験については、学生募集要項を参照してください。

## 10. 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

(1) 先進科学プログラム4月入学（春飛び入学）学生選抜（方式Ⅰ）

（先進科学プログラム学生選抜）

募集分野 [学部・学科(コース)]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野 [理学部 物理学科]</li> <li>・工学関連分野 [工学部 総合工学科 (物質科学コース)]</li> </ul>
募集人員	各分野共若干名（特に定員は定めていません。）
出願資格等	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成31年3月31日において年齢が満17歳以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満17歳の者）</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野：物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・工学関連分野：工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> </ul>
選抜方法等	<p>提出された書類（自己推薦書、推薦書及び調査書）並びに課題論述により、第1次判定合格者を決定します。さらに、第1次判定合格者に対して面接を行い、総合判定のうえ合格者を決定します。</p> <p><b>【物理学関連分野】</b> 物理学関連分野では、全国物理コンテスト物理チャレンジ(※1)の第1チャレンジ合格者については、課題論述を免除します。</p> <p><b>【工学関連分野】</b> 工学関連分野では、全国物理コンテスト物理チャレンジ(※1)の第1チャレンジ、または化学グランプリ(※2)の一次選考を通過した者については、課題論述を免除します。</p> <p>（詳細は、7月下旬に発表予定の先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項（方式Ⅰ，方式Ⅱ）でご確認ください。）</p>
出願期間	平成30年11月19日（月）～11月26日（月） 17時必着
選抜期日	<p>課題論述：平成30年12月22日（土）</p> <p>面接：平成30年12月23日（日・祝）</p>
合格者発表	<p>平成31年1月17日（木）</p> <p>〔第1次判定合格者の発表：平成30年12月23日（日・祝）に学内に掲示します。〕</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進科学プログラム入学者の入学料は全額免除されます。</li> <li>・先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項（方式Ⅰ，方式Ⅱ） <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表予定時期 平成30年7月下旬</li> <li>○請求方法等 テレメール進学サイトのホームページ (<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>) から請求することができます。（資料請求番号：621162）</li> </ul> </li> </ul> <p>また、郵送を希望する場合は、「先進科学プログラム学生募集要項（方式Ⅰ，方式Ⅱ）請求」と朱書した封筒に、350円分の郵便切手を貼った返信用封筒（角形2号：約33×24cm，表面に郵便番号，住所，氏名を明記すること）を同封し，下記あてに送付してください。</p> <p>千葉大学先進科学センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 (TEL: 043-290-3521)</p>

(※1) 全国物理コンテスト物理チャレンジ <http://www.jpho.jp/>  
特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会主催で、国際物理オリンピック国内予選となっています。

(※2) 化学グランプリ <http://gp.csj.jp/>  
公益社団法人日本化学会主催で、国際化学オリンピック国内予選となっています。

・2,3月に実施する方式Ⅱの入試については50ページを、7月に実施する方式Ⅲの入試については51ページを参照してください。

## (2) 先進科学プログラム4月入学(春飛び入学) 学生選抜(方式Ⅱ)

## (先進科学プログラム学生選抜)

募集分野 [学部・学科(コース)]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野 [理学部 物理学科]</li> <li>・化学関連分野 [理学部 化学科]</li> <li>・生物学関連分野 [理学部 生物学科]</li> <li>・工学関連分野 [工学部 総合工学科 (建築学コース, 都市環境システムコース, デザインコース, 機械工学コース, 医工学コース, 電気電子工学コース, 物質科学コース, 共生応用化学コース, 情報工学コース) ]</li> <li>・植物生命科学関連分野 [園芸学部 応用生命化学科]</li> <li>・人間科学関連分野 [文学部 人文学科 (行動科学コース) ]</li> </ul>
募集人員	各分野共若干名 (特に定員は定めていません。)
出願資格等	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成31年3月31日において年齢が満17才以下の者 (高等学校卒業程度認定試験合格者は満17歳の者)</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野: 物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・化学関連分野: 化学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・生物学関連分野: 生物学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・工学関連分野: 工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・植物生命科学関連分野: 植物生命科学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・人間科学関連分野: 人間科学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> </ul>
選抜方法等	<p>提出された書類 (自己推薦書, 推薦書及び調査書) 並びに前期日程の筆記試験 (受験科目は分野・学科別に指定) の結果により、第1次判定合格者を決定します。さらに、第1次判定合格者に対して面接 (人間科学関連分野は課題論述及び面接) を行い、総合判定のうえ合格者を決定します。</p> <p>なお、志望する分野に関連する物理, 化学, 生物, 数学, 情報分野などの科学技術コンテスト等における実績 (自己推薦書に記入のこと) がある場合には、その実績を総合判定において評価します。(詳細は、7月下旬に発表予定の先進科学プログラム (飛び入学) 学生募集要項 (方式Ⅰ, 方式Ⅱ) でご確認ください。)</p>
出願期間	平成31年1月28日 (月) ~ 2月6日 (水) 17時必着
選抜期日	<p>筆記試験: 平成31年2月25日 (月)</p> <p>面接: 平成31年3月17日 (日) (人間科学関連分野は課題論述及び面接)</p>
合格者発表	<p>平成31年3月20日 (水)</p> <p>[第1次判定合格者の発表: 平成31年3月9日 (土) に郵送で通知します。また、先進科学センターのホームページにも掲載します。]</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進科学プログラム入学者の入学料は全額免除されます。</li> <li>・先進科学プログラム (飛び入学) 学生募集要項 (方式Ⅰ, 方式Ⅱ) <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表予定時期 平成30年7月下旬</li> <li>○請求方法等 テレメール進学サイトのホームページ (<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>) から請求することができます。(資料請求番号: 621162)</li> </ul> </li> </ul> <p>また、郵送を希望する場合は、「先進科学プログラム学生募集要項 (方式Ⅰ, 方式Ⅱ) 請求」と朱書した封筒に、350円分の郵便切手を貼った返信用封筒 (角形2号: 約33×24cm, 表面に郵便番号, 住所, 氏名を明記すること) を同封し、下記あてに送付してください。</p> <p>千葉大学先進科学センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 (TEL: 043-290-3521)</p>

・12月に実施する方式Ⅰの入試については49ページを、7月に実施する方式Ⅲの入試については51ページを参照してください。

募集分野 [学部・学科(コース)]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野 [理学部 物理学科]</li> <li>・工学関連分野 [工学部 総合工学科（デザインコース，電気電子工学コース，物質科学コース）]</li> </ul>
募集人員	各分野共若干名（特に定員は定めていません。）
出願資格等	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で，次の二つの要件を満たし，高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成31年3月31日において年齢が満17歳以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満17歳の者）</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野：国際物理オリンピックの日本代表選手候補者に選抜されたことのある者(※1)</li> <li>・工学関連分野：工学に関して優れた資質を有し，その探究を志す者</li> </ul>
選抜方法等	<p>提出された書類（自己推薦書，推薦書及び調査書等）並びに課題論述により，第1次判定合格者を決定します。さらに，第1次判定合格者に対して面接を行い，総合判定のうえ合格者を決定します。</p> <p><b>【物理学関連分野】</b> 物理学関連分野では課題論述を免除します。</p> <p><b>【工学関連分野】</b> 工学関連分野[総合工学科（物質科学コース）]では ISEF（国際学生科学技術フェア）(※2)に個人研究で日本代表として派遣された者，国際物理オリンピックまたは国際化学オリンピックの日本代表選手候補者に選抜されたことのある者(※1，※3)については，課題論述を免除します。</p> <p>（詳細は，10月下旬に発表予定の先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項（方式Ⅲ）でご確認ください。）</p>
出願期間	平成31年6月上旬～6月中旬
選抜期日	<p>課題論述：平成31年7月14日（日）</p> <p>面接：平成31年7月15日（月・祝）</p>
合格者発表	<p>平成31年8月上旬</p> <p>[第1次判定合格者の発表：平成31年7月15日（月・祝）に学内に掲示します。]</p>
入学日	平成31年9月1日（日）
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進科学プログラム入学者の入学料は全額免除されます。</li> <li>・先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項（方式Ⅲ） <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表予定時期 平成30年10月下旬</li> <li>○請求方法等 テレメール進学サイトのホームページ (<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>) から請求することができます。(資料請求番号：594802)</li> </ul> </li> </ul> <p>また，郵送を希望する場合は，「先進科学プログラム学生募集要項(方式Ⅲ)請求」と朱書した封筒に，300円分の郵便切手を貼った返信用封筒（角型2号：約33×24cm，表面に郵便番号，住所，氏名を明記すること）を同封し，下記あてに送付してください。</p> <p>千葉大学先進科学センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 (TEL: 043-290-3521)</p>

(※1) 全国物理コンテスト物理チャレンジ (<http://www.jpho.jp/>) が国際物理オリンピック国内予選となっています。

(※2) ISEF(International Science & Engineering Fair) (国際学生科学技術フェア) <http://isef.jp/>

(※3) 化学グランプリ (<http://gp.csj.jp>) が国際化学オリンピック国内予選となっています。

・12月に実施する方式Ⅰの入試については49ページを，2,3月に実施する方式Ⅱの入試については50ページを参照してください。

## 1 1. 私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試は、次により行います。なお、詳細については、各学部の平成 31 年度（2019 年度）私費外国人留学生入試学生募集要項を参照してください。

◆教育学部は平成 31 年 4 月に学部改組を計画しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更があります。（改組の詳細については、2～6 ページを参照してください。）

### 【日本留学試験を利用した私費外国人留学生入試】

#### 1. 募集人員，出願期間，選抜期日，合格者発表

学 部	募集人員	出 願 期 間	選 抜 期 日	合格者発表
文学部	若干名	11 月 1 日(木)～ 5 日(月)	12 月 8 日(土)	1 月 17 日(木)
法政経学部		10 月 29 日(月)～31 日(水)	11 月 25 日(日)	12 月 19 日(水)
教育学部		1 月 28 日(月)～30 日(水)	2 月 22 日(金)，25 日(月)	3 月 9 日(土)
理学部		10 月 30 日(火)～31 日(水)	11 月 10 日(土)	11 月 30 日(金)
工学部		10 月 2 日(火)～ 9 日(火)	10 月 27 日(土)	11 月 16 日(金)
園芸学部		10 月 29 日(月)～31 日(水)	11 月 10 日(土)	11 月 30 日(金)
医学部		1 月 28 日(月)～30 日(水)	2 月 25 日(月)～26 日(火)	3 月 9 日(土)
薬学部		1 月 28 日(月)～29 日(火)	2 月 25 日(月)～26 日(火)	3 月 9 日(土)
看護学部		1 月 22 日(火)～23 日(水)	2 月 15 日(金)	3 月 9 日(土)

#### 2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、かつ、次の(1)～(4)のすべての要件を満たすもの（大学入試センター試験は免除します。）

(1) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者（日本国永住者を除く。）

(2) 次のいずれかに該当する者

(ア) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 31 年（2019 年）3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(注) 「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。

① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、18 歳に達したもの及び平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、18 歳に達したもの及び平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び平成 31 年（2019 年）3 月までに修了見込みの者

(イ) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18 歳に達したもの及び平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

(ロ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18 歳に達したもの及び平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

(ハ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18 歳に達したもの及び平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

(ニ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、18 歳に達したもの及び平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

(ホ) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

(3) 日本学生支援機構が実施する日本留学試験において、各学部・学科・課程・分野が指定する科目（54 ページ参照）を受験している者

なお、各学部・学科・課程・分野が指定する科目は、各学部で次のとおり指定する時期に実施した科目であること、「基準点」欄に基準点が記載されている場合はその条件を満たしていることが要件になります。

学部	指定する科目として認める日本留学試験の実施時期
文学部，法政経学部，理学部，工学部	平成 30 年度（2018 年度） 6 月実施
教育学部，医学部，薬学部，看護学部	平成 30 年度（2018 年度） 6 月実施，又は 平成 30 年度（2018 年度） 11 月実施
園芸学部	平成 29 年度（2017 年度） 11 月実施，又は 平成 30 年度（2018 年度） 6 月実施

# 日本留学試験の受験科目

学部・学科・課程・コース・分野			日本語	総合科目	数学	理 科				出題言語	摘 要	基準点
						物理	化学	生物	科目選択			
文学部	人文学科	行動科学コース 歴史学コース 日本・ユーラシア文化コース 国際言語文化化学コース	○	○	コース1 又は2					自由 選択		日本語が340点以上，総合科目と数学の合計が280点以上
		法政経学部	法政経学科	○	○	コース1 又は2					日本語	
教育学部	小学校教員養成課程		○	○	コース1 又は2				2科目 自由選択	日本語	総合科目か理科を選択	指定する科目それぞれにおいて，得点が70%以上
	中学校教員養成課程	数学科教育分野	○		コース2	○	○			日本語		
		理科教員教育分野 技術科教育分野	○		コース2				2科目 自由選択	日本語		
		家庭科教育分野	○	○	コース1 又は2		○	○		日本語	総合科目か理科を選択	
		国語科教育，社会科教育，音楽科教育，美術科教育，保健体育科教育，英語科教育の各分野	○	○	コース1 又は2					日本語		
	特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程											
養護教諭養成課程		○		コース1 又は2		○	○		日本語			
理学部	数学・情報数理学科		○		コース2				2科目 自由選択	日本語		
	物理学科		○		コース2	○	○					日本語の得点が70%以上，かつ数学と理科2科目の合計得点が70%以上
	化学科		○		コース2		○		他1科目 自由選択			化学の得点が70%以上，かつ化学と数学の合計得点が70%以上
	生物学科		○		コース2			○	他1科目 自由選択			日本語の得点が70%以上，かつ数学と理科2科目の合計得点が70%以上
	地球科学科		○		コース2				2科目 自由選択			
工学部	総合工学科	建築学コース 都市環境システムコース デザインコース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース 物質科学コース 共生応用化学コース 情報工学コース	○		コース2	○	○			自由 選択		指定する科目の合計点が80%以上（850点満点中，680点以上）
		園芸学部	園芸学科 応用生命化学科	○		コース2				2科目 自由選択	日本語	
園芸学部	緑地環境学科	○		コース1 又は2				2科目 自由選択		指定する科目の合計点が70%以上		
園芸学部	食料資源経済学科	○		コース1 又は2								
医学部	医学科		○		コース2				2科目 自由選択	日本語		
薬学部	薬学科，薬科学科（一括募集）		○		コース2				2科目 自由選択	日本語		
看護学部	看護学科		○		コース2				2科目 自由選択	日本語		指定する科目それぞれにおいて，（日本語については，記述，読解，聴読解，聴解それぞれの領域において）得点が平均点以上

(4) 以下の学部・学科・課程・コース・分野において、所定の要件を満たしている者

学部・学科・課程・コース・分野		要件
教育学部	中学校教員養成課程 英語科教育分野	平成29年（2017年）1月以降に実施された「TOEFL」を受験した者
理学部	全学科	平成28年（2016年）11月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC L&R」を受験した者
工学部	総合工学科全コース	平成28年（2016年）11月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC L&R」を受験した者
園芸学部	全学科	平成28年（2016年）11月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC L&R」を受験した者
医学部	医学科	平成29年（2017年）1月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC L&R」を受験した者
薬学部	薬学科，薬科学科（一括募集）	平成29年（2017年）1月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC L&R」を受験した者

3. 選抜方法

日本留学試験の成績及び本学で実施する以下の学力検査等の成績並びに提出された成績証明書の内容を総合して、合格者を決定します。

なお、出願要件として「TOEFL」又は「TOEIC L&R」を受験していることを要件としている学科等においては、その成績評価証明書の内容も総合して合格者を決定します。

学部・学科・課程・コース・分野		学力検査等の出題教科・科目等	出題範囲等	
文学部	人文学科 行動科学コース 歴史学コース 日本・ユーラシア文化コース 国際言語文化学コース	面接	面接の際に、英語を含む大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	
法政経学部	法政経学科	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	
教育学部	小学校教員養成課程 特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程 養護教諭養成課程	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	
	中学校教員養成課程	社会科教育, 数学科教育, 理科教育, 技術科教育, 家庭科教育, 英語科教育 の各分野	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。
		国語科教育分野	国語（現代文A・現代文B・古典A・ 古典B）	一般入試の日本人受験者との同一の検査を行う。
	音楽科教育分野	音楽科教育分野	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。
			実技	一般入試の日本人受験者との同一の検査を行う。詳細は28ページ(エ)を参照のこと。
		美術科教育分野	実技	一般入試の日本人受験者との同一の検査を行う。詳細は56ページ(注)を参照のこと。
			面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。
	保健体育科教育分野	保健体育科教育分野	実技	一般入試の日本人受験者との同一の検査を行う。
			面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。

学部・学科・課程・コース・分野		学力検査等の出題教科・科目等	出題範囲等
理学部	数学・情報数理学科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B）	
		面接	面接の際に，大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
工学部	総合 工学 科	建築学コース 都市環境システムコース デザインコース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース 物質科学コース 共生応用化学コース 情報工学コース	面接の際に，大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
		面接	
園芸部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科 食料資源経済学科	面接	面接の際に，大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
医学部	医学科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B）	一般入試の日本人受験者と同じの検 査を行う。
		理科 （物理基礎・物理，化学基礎・化学， 生物基礎・生物から2科目選択）	一般入試の日本人受験者と同じの検 査を行う。
		外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ）	一般入試の日本人受験者と同じの検 査を行う。
		面接	面接の際に，大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
薬学部	薬学科 薬科学科 （一括募集）	理科（化学基礎・化学）	一般入試の日本人受験者と同じの検 査を行う。
		面接	面接の際に，大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
看護部	看護学科	小論文	読解力，論理的思考力，日本語での 的確に表現できる能力等を評価する。
		面接	面接の際に，大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行うととも に，コミュニケーション能力，看護 学への関心，日本で看護学を学ぶこ との目的が明確であるか等を評価す る。

(注) 教育学部中学校教員養成課程 美術科教育分野の実技要領  
木炭紙大の用紙に静物デッサンを実施する。表現力，構想力，造形力，物のとらえ方等を総合的に評価する。  
用具として木炭，又は鉛筆（2H～6B程度），消しゴム，練りゴム等を持参すること。（デッサン用スケール  
は使用不可）

## 【日本大学連合学力試験を利用した私費外国人留学生入試】

### 1. 募集人員, 出願期間, 選抜期日, 合格者発表

学部・学科・コース	募集人員	出願期間	選抜期日	合格者発表
工学部総合工学科 医工学コース 共生応用化学コース	若干名	10月2日(火)～9日(火)	10月27日(土)	11月16日(金)

### 2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、かつ、次の(1)～(5)のすべての要件を満たすもの(大学入試センター試験は免除します。)

- (1) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者(日本国永住者を除く。)
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年(2019年)3月までに修了見込みの者
- (3) 平成28年(2016年)11月以降に実施された「TOEFL」, 「TOEIC L&R」又は「IELTS」を受験した者
- (4) 日中亜細亜教育医療文化交流機構の2019年度4月入学日本大学連合学力試験(上海又は台湾で実施のものに限る)における条件付一次合格者で、実施学部・学科・コースへの入学を希望し、かつ、合格後の留学前準備教育を修了(又は修了見込)のもの
- (5) 平成28年(2016年)11月以降に実施された「日本語能力試験」のN1又はN2レベルに合格(又は合格見込)の者

### 3. 選抜方法

本学で実施する以下の学力検査等の成績, 提出された成績証明書及び「TOEFL」, 「TOEIC L&R」, 「IELTS」の成績評価証明書の内容を総合して、合格者を決定します。

学部・学科・コース		学力検査等の出題教科・科目等	出題範囲等
工学部	総合工学科 医工学コース 共生応用化学コース	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。

## 12. 次年度入学者選抜方法の変更（予告）

最新の情報については千葉大学ホームページをご覧ください。

- ◆平成31年度入学者選抜（平成31年4月入学）において教育学部の学部改組を計画しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、審査結果によっては次年度入学者選抜方法の変更（予告）に追加・修正があります。

### I 一般入試

<募集人員等の変更>

平成32年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

#### 1. 文学部

【変更後】					【変更前】					
学 科	募集人員				←	学 科	募集人員			
	一般入試		特別入試				一般入試		特別入試	
	前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試			前期日程	後期日程	推薦入試	推薦入試
人文学科	125	18	3	24	←	人文学科	125	21	24	

※日本・ユーラシア文化コース後期日程の廃止並びにAO入試の新設に伴う変更です。

#### 2. 理学部

【変更後】					【変更前】					
学 科	募集人員				←	学 科	募集人員			
	一般入試		特別入試				一般入試		特別入試	
	前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試			前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試
物理学科	23	12	4	-	←	物理学科	23	12	-	4

#### 3. 医学部

【変更後】			【変更前】			
学 科	募集人員		←	学 科	募集人員	
	一般入試				一般入試	
	前期日程	後期日程			前期日程	後期日程
医学科	85	15	←	医学科	97	20

<大学入試センター試験の指定教科・科目及び個別学力検査の出題教科・科目等>

平成32年度入学者選抜における大学入試センター試験の指定教科・科目及び個別学力検査の出題教科・科目等は、60～65ページのとおりとなります。

(注)

1. 大学入試センター試験の「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。
2. 大学入試センター試験の各学部・学科・コースが指定する教科・科目において、複数の受験パターンが認められている場合があります。その場合には、いずれかの受験パターンを満たしていれば本学の個別学力検査等を受験できます。

なお、複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となる受験パターンで選考を行います。

3. 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」において、各学部・学科・コースの指定する科目数が1科目のところを2科目で受験する場合、第1解答科目（その教科の試験時間中の前半で解答した科目）で指定する科目を受験してください。（第1解答科目の成績を合否判定に利用します。）

なお、第1解答科目で指定する科目を受験せず、第2解答科目（試験時間中の後半で解答した科目）で指定する科目を受験している場合、失格にはなりませんその科目の成績は0点として扱いますので注意してください。

4. 個別学力検査等で出題する科目は、すべての項目を出題範囲とします。ただし、次の科目においては、出題範囲を指定します。

科目名	出題範囲
数学B	『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とする。

5. 大学入試センター試験の教科・科目名は、次のように略してあります。

【大学入試センター試験】

・科目名

「世界史A」→世A, 「世界史B」→世B, 「日本史A」→日A, 「日本史B」→日B

「現代社会」→現社, 「倫理, 政治・経済」→倫政経

「数学I」→数I, 「数学I・数学A」→数IA, 「数学II」→数II, 「数学II・数学B」→数IB

「簿記・会計」→簿, 「情報関係基礎」→情

「物理基礎」→物基, 「化学基礎」→化基, 「生物基礎」→生基, 「地学基礎」→地基

「物理」→物, 「化学」→化, 「生物」→生

「英語」→英, 「ドイツ語」→独, 「フランス語」→仏, 「中国語」→中, 「韓国語」→韓

6. 個別学力検査等の教科・科目名は、次のように略してあります。

【個別学力検査等】

・教科名

国語→国, 地理歴史→地歴, 数学→数, 理科→理, 外国語→外

・科目名

「国語総合」→国総, 「国語表現」→国表, 「現代文A」→現文A, 「現代文B」→現文B

「世界史B」→世B, 「日本史B」→日B

「数学I」→数I, 「数学II」→数II, 「数学III」→数III, 「数学A」→数A, 「数学B」→数B

「物理基礎」→物基, 「化学基礎」→化基, 「生物基礎」→生基, 「地学基礎」→地基

「物理」→物, 「化学」→化, 「生物」→生

「コミュニケーション英語I」→コミュ英I, 「コミュニケーション英語II」→コミュ英II, 「コミュニケーション英語III」→コミュ英III



学部・学科・コース		大学入試センター試験の指定教科・科目																	
日程	パターン	地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語					
人文学科 行動科学コース	①	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓	
		1	2		2		1	1		2		2		1					
人文学科 歴史科学コース	②	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓	
		1	2		2		1	1		2		2		1					
	備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 英語はリスニングの成績を利用しません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																	
人文学科 歴史学コース	①	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓
		1	2		2		1	1		1		2		1					
人文学科 国際言語文化コース	②	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地学	英	独	仏	中	韓
		1	2		2		1	1		1		1 (注)		1					
	備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																	

大学入試センター試験の指定教科・科目																	
学部・学科・コース	日程	パターン	地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語		
			世B	日B	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地学	英	独	仏	中
法政経学部	前期 後期	①	1	2	2		1	1		1		2				1	
			1	2	2		1	1		1		1 (注)				1	
		備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。(注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
教育学部			後日公表します。														
理学部	前期 後期	①	1	1 (注)	1		1	1		1		2				1	
			1	1 (注)	1		1	1		1		1				1	
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
工学部	前期 後期	①	1	1 (注)	1		1	1		1		1 (1)			1		
			1	1 (注)	1		1	1		1		1 (1)			1		
		備考	理科の指定科目は、化学(必須)と物理、生物、地学のいずれか(選択)の2科目です。(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
工学部	前期 後期	①	1	1 (注)	1		1	1		1		2			1		
			1	1 (注)	1		1	1		1		2			1		
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														



平成32年度入学者選抜(一般入試)における個別学力検査等の出題教科・科目等について

学 部	学科・コース	前期日程	後期日程	
国際教養学部	国際教養学科 【通常型入試】	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B)または 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1)  数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)または 地歴(世B, 日Bから1)  外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)＊	/	
	国際教養学科 【特色型入試】	小論文 面接(英語)		
文学部	人文学科	行動科学コース	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	小論文
		歴史学コース	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 地歴(世B, 日Bから1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	小論文 面接
		日本・ユーラシア文化コース	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 地歴(世B, 日Bから1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)＊	/
		国際言語文化学コース	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 地歴(世B, 日Bから1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
法政経学部	法政経学科	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	総合テスト	
教育学部	後日公表します。			
理学部	数学・情報数理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	
	物理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)＊	総合テスト	
	化学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(化基・化) (物基・物, 生基・生, 地基・地学から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	理(化基・化)	
	生物学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(生基・生) (物基・物, 化基・化から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	理(生基・生)	
	地球科学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	理(地基・地学)	
工学部	総合工学科	建築学コース 機械工学コース 電気電子工学コース 情報工学コース	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物)	
		都市環境システムコース 医工学コース 共生応用化学コース	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
		デザインコース 物質科学コース	/	
園芸学部	園芸学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)＊	総合テスト	
	応用生命化学科		理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2)	
	緑地環境学科		小論文	
	食料資源経済学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)＊	小論文	

学 部	学科・コース	前期日程	後期日程
医学部	医学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 面接	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 面接
薬学部	薬学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(化基・化)	理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2)
	薬科学科	外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
看護学部	看護学科	理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)* 面接	

注1) 小論文, 総合テスト, 専門適性検査, 実技等の出題範囲等については, 平成31年7月頃に公表する平成32年度入学者選抜要項または平成31年11月頃に公表する平成32年度一般入試学生募集要項にて公表します。

2) 前期日程において, 「外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)」に「\*」を付している学部・学科においては, 本学が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合, 成績に応じて「外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)」の点数を満点に換算, または所定の点数を加点します。

## II 特別入試

### <AO入試>

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

#### 1. 文学部

平成 32 年度入学者選抜から文学部で新たにAO入試を実施します。

募集人員	人文学科 日本・ユーラシア文化コース 3名
出願資格	<p>次の①～⑦のいずれかに該当し、平成 32 年 1 月実施の平成 32 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目を受験する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成 32 年 3 月までに卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による 12 年の学校教育（※）を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>（※）特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 32 年 3 月までに合格見込みの者</p>
選抜方法等	<p>提出された書類並びに課題論述及び面接により、総合判定のうえ合格内定者を決定し、更に平成 32 年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の成績（素点）総得点が 70%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <p>《大学入試センター試験の指定教科・科目等》 大学入試センター試験の指定教科・科目等については、一般入試前期日程の文学部人文学科日本・ユーラシア文化コースと同様とします。</p>
出願期間	平成 31 年 10 月上旬
選抜期日	平成 31 年 11 月中旬～下旬
合格者発表	平成 32 年 2 月上旬（合格内定者の発表：平成 31 年 12 月上旬）
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願時に所定の指示と様式に基づく自己推薦書を提出してもらいます。詳細は平成 32 年度文学部人文学科日本・ユーラシア文化コースAO入試学生募集要項を確認してください。</li> <li>・課題論述は、資料の理解力、論理構成力等を問うものです。なお、問題には英文読解力を問うことを目的とする英文を含みます。（英和辞典のみ持ち込み可とします。電子辞書、PC・スマートフォン等の電子機器類の使用はできません。）</li> </ul>

## 2. 法政経学部

法政経学科におけるAO入試を、以下のとおり変更します。

### 【変更前】

(出願資格等)

次の外国語検定試験において、以下のうちいずれかの条件を満たしている者

①TOEFL iBT	55点以上
②IELTS	4.5以上
③GTEC 3技能	650点以上
④GTEC 4技能	1070点以上
⑤GTEC CBT	950点以上
⑥実用英語技能検定	2級以上

※GTEC for STUDENTS は GTEC 3 技能と同様に取扱います。

(選抜方法等)

大学入試センター試験で指定する教科・科目の総得点（配点合計）が75%に達し、かつ外国語検定試験の結果が以下のスコアに該当する者

①TOEFL iBT	61点以上
②IELTS	5.5以上
③GTEC 3技能	680点以上
④GTEC 4技能	1110点以上
⑤GTEC CBT	1010点以上
⑥実用英語技能検定	準1級以上

※GTEC for STUDENTS は GTEC 3 技能と同様に取扱います。

### 【変更後】

(出願資格等)

次の外国語検定試験において、以下のうちいずれかの条件を満たしている者

①TOEFL iBT	55点以上
②IELTS	4.5以上
③GTEC 4技能	1070点以上
④GTEC CBT	1020点以上
⑤実用英語技能検定	2級以上

(選抜方法等)

大学入試センター試験で指定する教科・科目の総得点（配点合計）が75%に達し、かつ外国語検定試験の結果が以下のスコアに該当する者

①TOEFL iBT	61点以上
②IELTS	5.5以上
③GTEC 4技能	1110点以上
④GTEC CBT	1070点以上
⑤実用英語技能検定	準1級以上

### 3. 理学部

平成 32 年度入学者選抜から理学部物理学科で新たにAO入試を実施します。

募集人員	物理学科 4名
出願資格	次の①～⑦のいずれかに該当する者 ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成 32 年 3 月までに卒業見込みの者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育（※）を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者 （※）特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次が該当します。 ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 32 年 3 月までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者 ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 32 年 3 月までに合格見込みの者
選抜方法等	提出された書類（調査書、自己推薦書等）により、第 1 次選抜合格者を決定します。第 1 次選抜合格者に対して、総合テストにより第 2 次選抜合格者を決定します。総合テストの出題内容は次のとおりです。  物理（物理基礎・物理）に関する事柄を中心に、それに関連した数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）を含めて出題し、思考力、理解力、表現力、論理性等を総合的に評価します。  第 2 次選抜合格者に対して面接を行い、総合判定により合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成 31 年 10 月中旬（予定）
選抜期日	第 1 次選抜（書類選考）：平成 31 年 10 月下旬～11 月上旬（予定） 第 2 次選抜（総合テスト）、第 3 次選抜（面接）：平成 31 年 11 月中旬（予定）
合格者発表	平成 31 年 12 月上旬（予定）
その他	なし

#### <推薦入試>

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

#### 1. 理学部

物理学科における推薦入試（募集人員：4名）を廃止します。

<園芸産業創発学プログラム選抜>

平成 32 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 園芸学部

園芸学科，食料資源経済学科における園芸産業創発学プログラム選抜を，以下のとおり変更します。

【変更前】

(出願資格等)

次の外国語検定試験のいずれかの条件を満たしている者

(1) 実用英語技能検定	2級以上
(2) GTEC 3技能	650点以上
(3) GTEC 4技能	1070点以上
(4) TOEFL iBT	52点以上
(5) TOEIC L&R	500点以上

※GTEC for STUDENTS は GTEC 3 技能と同様に取扱います。

【変更後】

(出願資格等)

次の外国語検定試験のいずれかの条件を満たしている者

(1) 実用英語技能検定	2級以上
(2) GTEC 4技能	960点以上
(3) TOEFL iBT	42点以上
(4) TOEIC L&R + S&W ※	790点以上

※「TOEIC L&R」及び「TOEIC S&W」両検定試験の受験及びスコアを必須とします。

<先進科学プログラム>

1. 先進科学プログラム 4月入学（春飛び入学）学生選抜（方式Ⅰ）

平成 32 年度入学者選抜から、募集分野[学部・学科（コース）]等を以下のとおり変更します。

【変更後】

募集分野 [学部・学科（コース）]
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野 [理学部 物理学科]</li> <li>・工学関連分野 [工学部 総合工学科（物質科学コース、 情報工学コース）]</li> </ul>

【変更前】

募集分野 [学部・学科（コース）]
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野 [理学部 物理学科]</li> <li>・工学関連分野 [工学部 総合工学科（物質科学コース）]</li> </ul>

←

【変更後】

出願資格等
<p>学校教育法第 90 条第 1 項又は同条第 2 項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成 32 年 3 月 31 日において年齢が満 17 歳以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満 17 歳の者）</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <p><b>【物理学関連分野】</b> 物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</p> <p><b>【工学関連分野】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部総合工学科（物質科学コース） 工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・工学部総合工学科（情報工学コース） 工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者で、日本情報オリンピック（特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会主催）の予選に参加したもの又は出願する年に参加申込みをしたもの</li> </ul>

【変更前】

出願資格等
<p>学校教育法第 90 条第 1 項又は同条第 2 項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成 32 年 3 月 31 日において年齢が満 17 歳以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満 17 歳の者）</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学関連分野：物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> <li>・工学関連分野：工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者</li> </ul>

←

【変更後】

選抜方法等

提出書類（自己推薦書，推薦書及び調査書）並びに課題論述により，第1次判定合格者を決定します。さらに，第1次判定合格者に対して面接を行い，総合判定のうえ，合格者を決定します。

【物理学関連分野】

物理学関連分野では，全国物理コンテスト物理チャレンジの第1チャレンジ合格者については，課題論述を免除します。

【工学関連分野】

・工学部 総合工学科（物質科学コース）

全国物理コンテスト物理チャレンジの第1チャレンジ，または化学グランプリの一次選考を通過した者については，課題論述を免除します。

【変更前】

選抜方法等

提出書類（自己推薦書，推薦書及び調査書）並びに課題論述により，第1次判定合格者を決定します。さらに，第1次判定合格者に対して面接を行い，総合判定のうえ，合格者を決定します。

← 【物理学関連分野】

物理学関連分野では，全国物理コンテスト物理チャレンジの第1チャレンジ合格者については，課題論述を免除します。

【工学関連分野】

工学関連分野では，全国物理コンテスト物理チャレンジの第1チャレンジ，または化学グランプリの一次選考を通過した者については，課題論述を免除します。

### 13. 学部への問合せ及び一般入試・特別入試学生募集要項等の請求方法

**一般入試学生募集要項(願書)は、最終ページに記載している請求方法を参照の上、ご請求ください。**

学部への問合せ及び特別入試学生募集要項の請求方法については、下記をご参照ください。なお、各学部へのメールによる請求・問合せについては、各学部メールアドレス一覧が千葉大学ホームページ内(<http://www.chiba-u.jp/>)に記載されていますので、そちらをご覧ください。また、入試全般の問合せは、学務部入試課入試係(TEL:043-290-2182)までご連絡ください。

#### ◎募集要項の請求方法

志望学部の窓口で配付します。直接来訪することができない場合は、以下の方法でご請求ください。

##### 【テレメールによる請求方法】

テレメール進学サイトのホームページ(<http://telemail.jp/shingaku/>)から募集要項を請求することができます。なお、一部の特別入試は、テレメールでの取扱いができないため、【郵送による請求方法】にてご請求ください。

##### 【郵送による請求方法】

「〇〇学部△△学生募集要項請求」(〇〇には学部名を、△△には推薦入試等の特別入試名を記入)と朱書した封筒に、料金分の郵便切手(下表の「郵便切手料金(重量)」欄を参照)を貼付した返信用封筒(角形2号の封筒:約33×24cm,表面に返信先の郵便番号,住所,氏名を明記すること)を同封し、志望学部へ直接請求(下表の「請求・問合せ先」欄参照)してください。

志望学部	請求・問合せ先 ※ 電話での問合せは、月曜日から金曜日(祝日を除く。)の9時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。	特別入試募集要項発表(発送)予定時期並びに【郵便による請求方法】で請求する場合の郵便切手料金		
		特別入試名	発表(発送)予定時期	郵便切手料金(重量)
国際教養学部	千葉大学国際教養学部学務係 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-2496 FAX:043-290-3608	AO入試	7月上旬	205円(150g)
文学部	千葉大学人文社会科学系事務部 学部学務グループ 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-3631 FAX:043-290-2356	推薦入試	7月中旬	140円(100g)
		社会人入試	7月中旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	7月中旬	140円(100g)
法政経学部	千葉大学人文社会科学系事務部 学部学務グループ 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-2350 FAX:043-290-2356	AO入試	7月中旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	7月中旬	140円(100g)
教育学部	千葉大学教育学部学務室入試係 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-2515 FAX:043-290-2504	AO入試	8月下旬	205円(150g)
		推薦入試	8月下旬	205円(150g)
		私費外国人留学生入試	11月上旬	205円(150g)
理学部	千葉大学理学部学務係 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-2880 FAX:043-290-2874	推薦入試	7月下旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	7月下旬	140円(100g)
工学部	千葉大学工学部 学部学務グループ 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-3054 FAX:043-290-3076	AO入試	6月下旬	250円(210g)
		私費外国人留学生入試	6月下旬	140円(100g)
園芸学部	千葉大学園芸学部学務係 〒271-8510 松戸市松戸648番地 TEL:047-308-8712 FAX:047-308-8720	AO入試	7月中旬	205円(150g)
		園芸産業創発学プログラム選抜	7月中旬	205円(150g)
		私費外国人留学生入試	7月中旬	205円(150g)
医学部	千葉大学医学部 学部学務係 〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号 TEL:043-226-2008 FAX:043-226-2502	私費外国人留学生入試	11月	140円(100g)
薬学部	千葉大学薬学部学務係 〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号 TEL:043-226-2941 FAX:043-226-2857	推薦入試	7月中旬	140円(100g)
		帰国子女入試(4月入学)	7月中旬	140円(100g)
		帰国子女入試(9月入学)	3月下旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	11月	140円(100g)
看護学部	千葉大学看護学部 学部学務係 〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号 TEL:043-226-2381 FAX:043-226-2382	推薦入試	6月上旬	140円(100g)
		社会人入試	6月上旬	205円(150g)
		私費外国人留学生入試	11月上旬	140円(100g)

※「先進科学プログラム(飛び入学)学生募集要項」の請求方法等は49～51ページを参照してください。

# 一般入試学生募集要項（願書）の請求方法（11月に発送開始予定）

## 1 千葉大学のホームページから請求する

千葉大学のホームページからテレメール等を利用して募集要項等の資料が請求できます。  
詳しくは千葉大学ホームページ（<http://www.chiba-u.jp>）の〈入試案内〉にアクセスして、〈資料請求〉画面（<http://www.chiba-u.jp/others/request/index.html>）をご覧ください。

## 2 テレメールで請求する

- ① インターネット（パソコン，スマートフォン，携帯電話）又は自動音声応答電話にて請求してください。

インターネット (共通アドレス)	<a href="https://telemail.jp">https://telemail.jp</a>	国際教養・文・ 法政経・教育	理・工・園芸・ 医・薬・看護
			
自動音声 応答電話	I P 電話 050-8601-0101 (24 時間受付) 一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分ごとに約12円です。		

- ② 希望する募集要項等の資料請求番号（6桁）を入力してください。

- ・一般入試学生募集要項のみ請求する場合…… 581802
- ・一般入試学生募集要項及び千葉大学案内を請求する場合…… 541802

※バーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。

※料金は資料到着後の後払いとなります。お届けする資料に同封されている料金支払い用紙をご確認の上お支払いください。（払込手数料が別途必要になります。）

お支払い方法は「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。ケータイ払い，クレジットカード払い，コンビニ支払いは，1回分の手数料で，複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

- ③ ガイダンスに従って登録してください。

上記1～2の請求方法についてのお問合せは

テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30～18:00) まで

## 3 その他

千葉大学学務部入試課，及び志望学部で直接配付もしています。